

2025
4月

Okinawa Convention & Visitors Bureau

OCVB News

季刊版



■OCVBホームページ

<https://www.ocvb.or.jp/>

【観光客の皆様向け情報】

■沖縄観光情報WEBサイト おきなわ物語

<https://www.okinawastory.jp/>



ごあいさつ



一般財団法人沖縄観光コンベンションビューロー
会長 下地 芳郎

平素より沖縄観光振興に格別なるご支援とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。

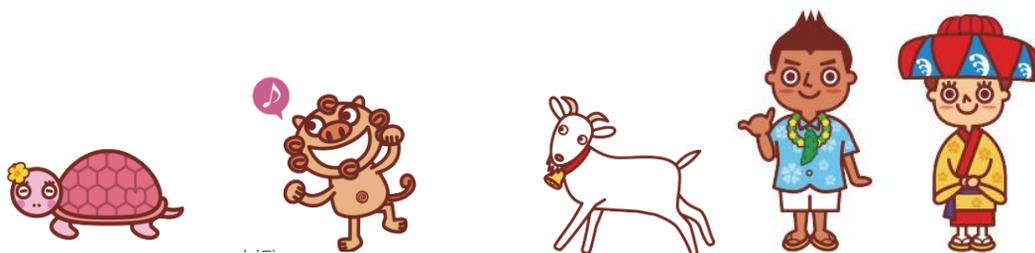
昨年度は、旅行需要の活発化と台風の影響が少なかったことにより、現時点での予測では国内観光客は過去最高の約765万人、外国人観光客も那覇空港・下地島空港からの国際定期便の回復により約230万人となり、沖縄を訪れた観光客は、国内・海外合わせて約995万人と見込んでいます。沖縄観光は新たな時代へと突入し、さらなる発展が期待されています。

2025年度も、旅行需要の継続的な活発化と国際定期便のさらなる増加により、入域観光客数の増加が見込まれています。また、今年度は戦後80年、沖縄国際海洋博覧会から50年、九州沖縄サミット開催から25年の節目の年となります。7月には、大型テーマパーク施設ジャングリア沖縄の開業も予定されています。沖縄観光の成長を目指し、国内外へのプロモーション強化や閑散期対策、海外航空路線の拡充やフライ&クルーズの促進による国際観光の裾野の拡大に取り組んでまいります。引き続き持続可能な観光地の実現に向けた観光人材の育成や受入体制の強化を推進してまいります。

沖縄観光のさらなる発展のためには、観光目的税の導入が重要な役割を果たします。「住んでよし、訪れてよし、受け入れてよし」の持続可能な観光地づくりに貢献できるよう観光業界のみならず、県民の皆様とも議論を重ねながら、沖縄観光の未来を築いていきたいと考えております。観光業は沖縄の重要な産業であり、地域経済の活性化に寄与するものです。今後も、観光業界の皆様と連携しながら、沖縄観光のさらなる発展に向けて尽力してまいります。

世界の観光をリードする沖縄を目指し、皆様とともに歩んでいけることを楽しみにしております。本年度も引き続き、沖縄観光振興へのご支援を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

2025年4月



①入域観光客数概況

1. 入域観光客数概況（24年4月～25年1月実績、25年3月～5月見通し）

			2024年度					2025年度			
			上期計	10-12月	1月(実績)	2月(実績)	3月(予測)	1-3月計	24年度	4月(予測)	5月(予測)
当年度	国内	空路	3,808,700	1,931,500	565,100	604,400	702,000	1,871,500	7,611,700	590,000	610,000
		海路	19,500	12,100	1,700	1,800	3,000	6,500	38,100	3,000	10,000
		合計	3,828,200	1,943,600	566,800	606,200	705,000	1,878,000	7,649,800	593,000	620,000
	海外	空路	733,700	372,700	148,400	130,400	141,000	419,800	1,526,200	157,000	162,000
		海路	398,900	198,200	68,200	44,700	64,000	176,900	774,000	103,000	93,000
		合計	1,132,600	570,900	216,600	175,100	205,000	596,700	2,300,200	260,000	255,000
国内・海外合計		4,960,800	2,514,500	783,400	781,300	910,000	2,474,700	9,950,000	853,000	875,000	
前年度比	国内	空路	105.0%	105.6%	111.9%	105.5%	103.5%	106.6%	105.5%	100.3%	109.0%
		海路	52.8%	100.8%	42.5%	112.5%	103.4%	76.5%	66.4%	56.6%	500.0%
		合計	104.5%	105.5%	111.4%	105.5%	103.5%	106.5%	105.2%	99.9%	110.4%
	海外	空路	173.4%	151.9%	159.7%	138.1%	145.8%	147.8%	160.2%	146.0%	145.3%
		海路	364.6%	352.0%	248.0%	88.7%	95.0%	121.7%	248.9%	200.4%	248.7%
		合計	212.7%	189.2%	179.9%	120.9%	124.9%	139.0%	182.0%	163.6%	171.3%
国内・海外合計		118.2%	117.3%	124.5%	108.6%	107.7%	112.8%	116.6%	113.4%	123.2%	
19年度比	国内	空路	103.0%	108.7%	106.2%	114.7%	178.9%	128.9%	109.9%	99.0%	109.7%
		海路	65.0%	74.2%	77.3%	62.1%	187.5%	97.0%	71.9%	60.0%	98.0%
		合計	102.7%	108.4%	106.1%	114.4%	179.0%	128.8%	109.6%	98.7%	109.4%
	海外	空路	79.3%	114.3%	121.7%	252.2%	5875.0%	238.5%	106.9%	105.8%	99.8%
		海路	57.3%	69.3%	95.3%	480.6%	0.0%	218.7%	72.8%	101.1%	87.7%
		合計	69.8%	93.3%	111.9%	287.0%	8541.7%	232.3%	92.4%	103.9%	95.0%
国内・海外合計		92.7%	104.5%	107.6%	132.2%	229.6%	144.3%	105.1%	100.2%	104.8%	

■概況

国内：

- ・3月以降の空路は春休み期間中の個人需要が活発で、前年と比較し、引き続き需要が堅調に推移している。
- ・東京・大阪などの幹線（石垣宮古の県外直行便を含む）を中心に需要が堅調に推移しているほか、春休み期間において一部増便も予定されている。

海外：

- ・空路は台北、韓国仁川、香港路線の需要が引き続き堅調に推移している。新石垣空港＝香港/韓国（仁川）路線の新規就航や台湾/中国路線など3月30日からの夏季ダイヤでの増便等が予定されており、今後も堅調に推移する。
- ・海路は、引き続き海外クルーズが好調に推移している。

①入域観光客数概況

1. 入域観光客数概況（24年4月～25年1月実績、25年2月～5月見通し）

3月

国内

（空路）70.2万人（24年3月対比 103.5%）と見込む。

（海路）3,000人（24年3月対比 103.4%）の見通し。
国内クルーズは6回寄港予定。（東京・横浜・神戸・那覇）うち1回は石垣港のみ。

海外

（空路）14.1万人（24年3月対比 145.8%）となる見通し。

台北＝那覇

タイガーエア：3月30日（日）～ 1日1便から1日2便へ増便

台中＝那覇

スターラックス航空：3月30日（日）～ 週4便（月火木土）から週6便（月火水木土日）へ増便

上海＝那覇

中国東方航空：3月30日（日）～ 週3便（水金日）からデイリー運航

クアラルンプール＝台北＝那覇

パティックエアマレーシア：3月30日（日）～ 週4便（月火木土）から週5便（月水金土日）

シンガポール＝那覇

ジェットスター・アジア：3月30日（日）～ 週4便から週6便（火水木金土日）

バンコク-台北-那覇

タイ・バトジェットエア：3月30日（日）～ 週4便（月水金日）からデイリー運航

（海路）6.4万人（24年3月対比95.0%）となる見通し。

中国（上海・南沙）や台湾（基隆・高雄）、香港、韓国（仁川）などから、16回寄港予定。うち4回は石垣港のみ寄港。

4月

国内

（空路）59万人（24年4月対比100.3%）と見込む。

（海路）入域客数は3,000人（24年4月対比 56.6%）となる見通し。
国内クルーズは4回寄港予定。（横浜・東京・鹿児島）うち2回は石垣港のみ寄港。

海外

（空路）15.7万人（24年4月対比146%）となる見通し。

香港＝新石垣路線

香港エクスプレス：4月3日（木）～ 新規就航（デイリー）

仁川＝新石垣路線

ジンエアー：4月3日（木）～ 新規就航 週5便（月火木金日）

高雄＝那覇

チャイナエアライン：4月6日（日）～ 週3便（月水金）から週4便（日月水金）へ増便

5月1日（木）からはさらに、週6便（月火水金土日）へ増便

（海路）10.3万人（24年4月対比200.4%）となる見通し。

台湾（基隆）や中国（上海・南沙・廈門）、香港などから37回寄港予定。うち11回は石垣港または平良港のみ寄港。

5月

国内

（空路）61万人（24年5月対比109%）と見込む。

（海路）10,000人（24年5月対比500%）となる見通し。
国内クルーズは8回寄港予定。（東京・横浜）うち1回は石垣港のみ寄港。

海外

（空路）16.2万人（24年5月対比 145.3%）となる見通し。

台北＝新石垣路線

チャイナエアライン：5月28日（水）～10月25日（土）期間運航 週2便（水土）

（海路）9.3万人（24年5月対比248.7%）となる見通し。

台湾（基隆）、中国（上海）、香港などから24回寄港予定。うち14回は石垣港または平良港のみ寄港。

（空路）国内：県外発沖縄県内空港着の搭乗旅客数想定のうち、観光客の混在率をかけたもの

海外：海外発沖縄県内空港着の搭乗旅客数想定

（海路）国内：乗船客数想定のうち日本国籍のもの

海外：乗船客数想定のうち日本以外の国籍のもの

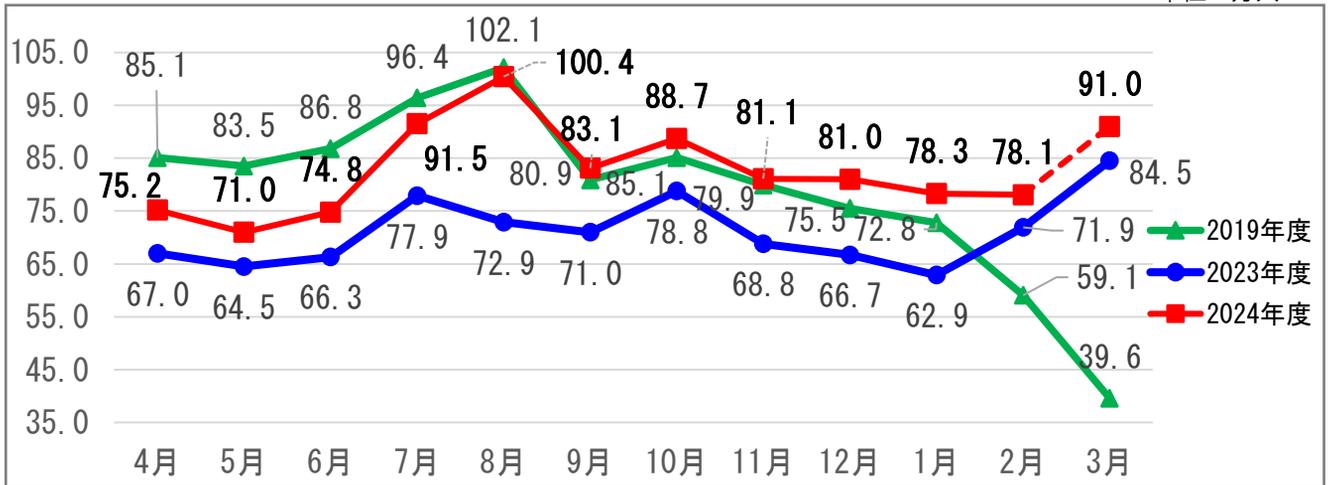
※国内クルーズ⇒発地が国内 海外クルーズ⇒発地が海外

①入域観光客数概況

1. 入域観光客数概況 (24年4月～25年2月実績、25年3月見通し) グラフ

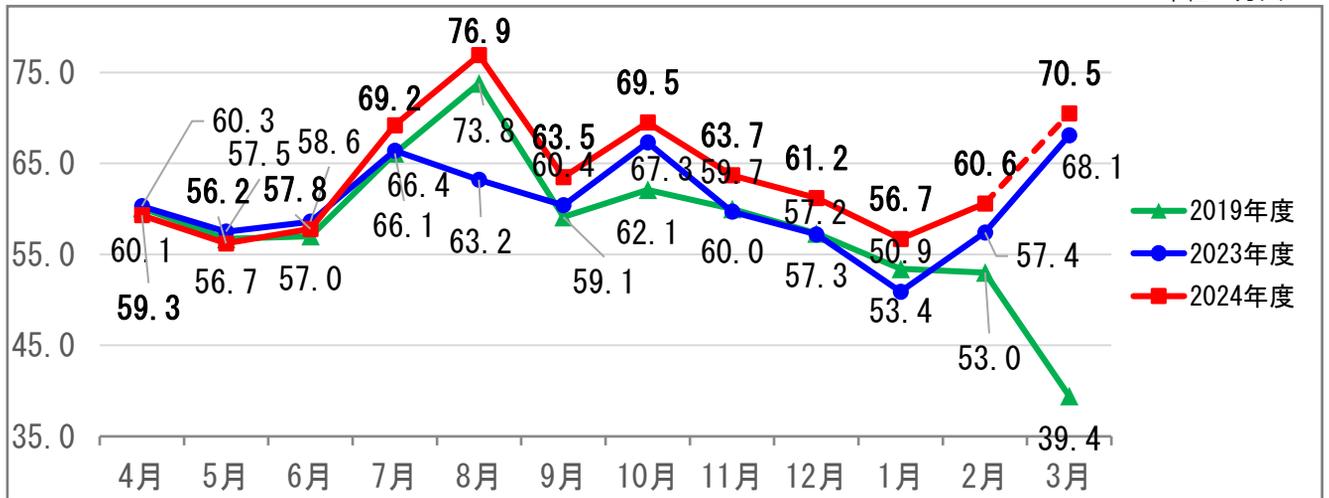
入域観光客 (国内・海外合計)

単位：万人



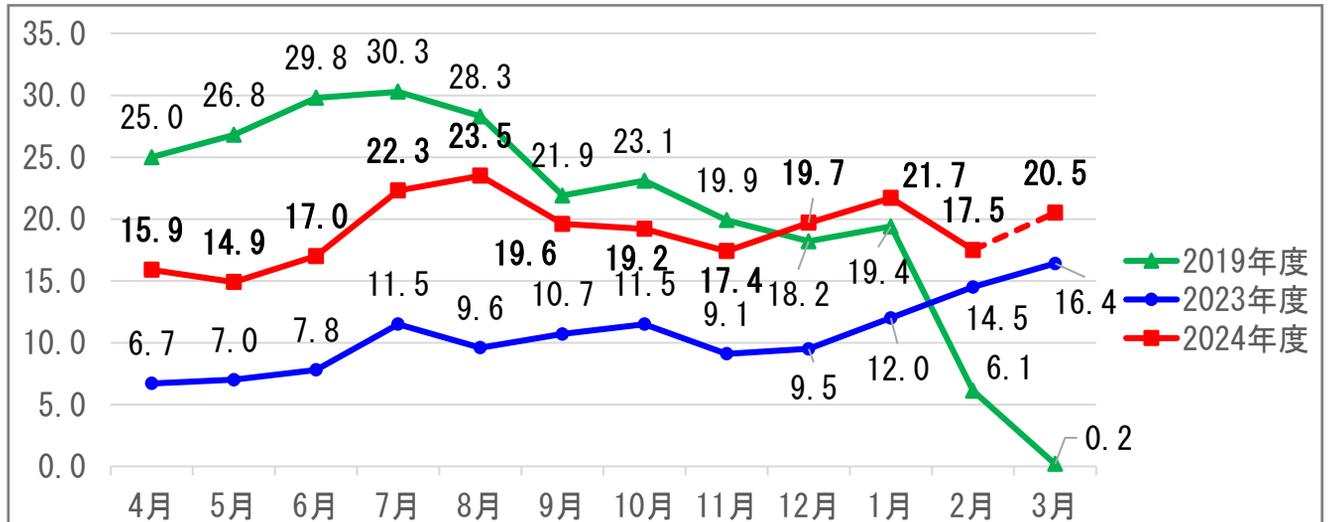
入域観光客 (国内)

単位：万人



入域観光客 (海外)

単位：万人



2024年度 入域数実績概況

数値引用／沖縄県観光政策課

1. 沖縄入域観光客数

総計	総計				総計／空路				総計／海路			
	入域数 (人)	前年比 (%)	前年増減 (人)	前年実績 (人)	入域数 (人)	前年比 (%)	前年増減 (人)	前年実績 (人)	入域数 (人)	前年比 (%)	前年増減 (人)	前年実績 (人)
上期計	4,960,800	118.2%	+764,900	4,195,900	4,542,400	112.2%	+492,800	4,049,600	418,400	286.0%	+272,100	146,300
10月	886,900	112.5%	+98,600	788,300	812,400	108.8%	+65,900	746,500	74,500	178.2%	+32,700	41,800
11月	811,200	117.9%	+123,000	688,200	750,400	111.5%	+77,500	672,900	60,800	397.4%	+45,500	15,300
12月	816,400	122.5%	+149,700	666,700	741,400	113.1%	+85,900	655,500	75,000	669.6%	+63,800	11,200
10-12月計	2,514,500	117.3%	+371,300	2,143,200	2,304,200	111.1%	+229,300	2,074,900	210,300	307.9%	+142,000	68,300
1月	783,400	124.5%	+154,200	629,200	713,500	119.4%	+115,800	597,700	69,900	221.9%	+38,400	31,500
2月	781,300	108.6%	+62,100	719,200	734,800	110.1%	+67,600	667,200	46,500	89.4%	-5,500	52,000
3月	0	0.0%	-845,100	845,100	0	0.0%	-774,800	774,800	0	0.0%	-70,300	70,300
1-3月計	1,564,700	71.3%	-628,800	2,193,500	1,448,300	71.0%	-591,400	2,039,700	116,400	75.7%	-37,400	153,800
下期計	4,079,200	94.1%	-257,500	4,336,700	3,752,500	91.2%	-362,100	4,114,600	326,700	147.1%	+104,600	222,100
年度計	9,040,000	105.9%	+507,400	8,532,600	8,294,900	101.6%	+130,700	8,164,200	745,100	202.3%	+376,700	368,400

国内	国内客／合計				国内客／空路				国内客／海路			
	入域数 (人)	前年比 (%)	前年増減 (人)	前年実績 (人)	入域数 (人)	前年比 (%)	前年増減 (人)	前年実績 (人)	入域数 (人)	前年比 (%)	前年増減 (人)	前年実績 (人)
上期計	3,828,200	104.5%	+164,800	3,663,400	3,808,700	105.0%	+182,200	3,626,500	19,500	52.8%	-17,400	36,900
10月	694,500	103.2%	+21,600	672,900	688,600	103.1%	+21,000	667,600	5,900	111.3%	+600	5,300
11月	636,800	106.6%	+39,700	597,100	632,400	106.2%	+37,000	595,400	4,400	258.8%	+2,700	1,700
12月	612,300	107.1%	+40,800	571,500	610,500	107.8%	+44,000	566,500	1,800	36.0%	-3,200	5,000
10-12月計	1,943,600	105.5%	+102,100	1,841,500	1,931,500	105.6%	+102,000	1,829,500	12,100	100.8%	+100	12,000
1月	566,800	111.4%	+58,000	508,800	565,100	111.9%	+60,300	504,800	1,700	42.5%	-2,300	4,000
2月	606,200	105.5%	+31,800	574,400	604,400	105.5%	+31,600	572,800	1,800	112.5%	+200	1,600
3月	0	0.0%	-681,000	681,000	0	0.0%	-678,100	678,100	0	0.0%	-2,900	2,900
1-3月計	1,173,000	66.5%	-591,200	1,764,200	1,169,500	66.6%	-586,200	1,755,700	3,500	41.2%	-5,000	8,500
下期計	3,116,600	86.4%	-489,100	3,605,700	3,101,000	86.5%	-484,200	3,585,200	15,600	76.1%	-4,900	20,500
年度計	6,944,800	95.5%	-324,300	7,269,100	6,909,700	95.8%	-302,000	7,211,700	35,100	61.1%	-22,300	57,400

外国	外国客／合計				外国客／空路				外国客／海路			
	入域数 (人)	前年比 (%)	前年増減 (人)	前年実績 (人)	入域数 (人)	前年比 (%)	前年増減 (人)	前年実績 (人)	入域数 (人)	前年比 (%)	前年増減 (人)	前年実績 (人)
上期計	1,132,600	213%	+600,100	532,500	733,700	173%	+310,600	423,100	398,900	365%	+289,500	109,400
10月	192,400	167%	+77,000	115,400	123,800	157%	+44,900	78,900	68,600	188%	+32,100	36,500
11月	174,400	191%	+83,300	91,100	118,000	152%	+40,500	77,500	56,400	415%	+42,800	13,600
12月	204,100	214%	+108,900	95,200	130,900	147%	+41,900	89,000	73,200	181%	+67,000	6,200
10-12月計	570,900	189%	+269,200	301,700	372,700	152%	+127,300	245,400	198,200	352%	+141,900	56,300
1月	216,600	180%	+96,200	120,400	148,400	160%	+55,500	92,900	68,200	248%	+40,700	27,500
2月	175,100	121%	+30,300	144,800	130,400	138%	+36,000	94,400	44,700	89%	-5,700	50,400
3月	0	0%	-164,100	164,100	0	0%	-96,700	96,700	0	0%	-67,400	67,400
1-3月計	391,700	91%	-37,600	429,300	278,800	98%	-5,200	284,000	112,900	78%	-32,400	145,300
下期計	962,600	132%	+231,600	731,000	651,500	123%	+122,100	529,400	311,100	154%	+109,500	201,600
年度計	2,095,200	166%	+831,700	1,263,500	1,385,200	145%	+432,700	952,500	710,000	228%	+399,000	311,000

2. 沖縄離島入域観光客数／八重山、宮古、久米島、座間味村、渡嘉敷村

参考数値 ※数値引用元は各地域名横に記載 ※各数値は、引用元が定めた統計手法により算出されているため、考え方に若干の相違があります。また各離島の数値と沖縄県総計とは一部重複している部分もあるため、参考数値としてご覧ください。 ※数値公表のタイミングもそれぞれ異なります。空欄部分は、現在未発表となります。

沖縄県入域観光客数 総計	沖縄県観光政策課			
	2024	前年比	前年増減	2023
上期計	4,960,800	118.2%	+764,900	4,195,900
10月	886,900	112.5%	+98,600	788,300
11月	811,200	117.9%	+123,000	688,200
12月	816,400	122.5%	+149,700	666,700
10-12月計	2,514,500	117.3%	+371,300	2,143,200
1月	783,400	124.5%	+154,200	629,200
2月	781,300	108.6%	+62,100	719,200
3月	0	0.0%	-845,100	845,100
1-3月計	1,564,700	71.3%	-628,800	2,193,500
年度計	9,040,000	105.9%	+507,400	8,532,600

●八重山 沖縄県八重山事務所	2024			
	2024	前年比	前年増減	2023
上期計	739,123	115.9%	+101,221	637,902
10月	117,220	107.2%	+7,852	109,368
11月	112,109	120.2%	+18,841	93,268
12月	122,211	145.1%	+37,986	84,225
10-12月計	351,540	122.5%	+64,679	286,861
1月	95,421	103.3%	+3,051	92,370
2月	0	0.0%	-111,901	111,901
3月	0	0.0%	-131,650	131,650
1-3月計	95,421	28.4%	-240,500	335,921
年度計	1,186,084	94.1%	-74,600	1,260,684

●宮古 宮古島市観光商工部観光商工課	2024			
	2024	前年比	前年増減	2023
上期計	625,442	128.9%	+140,167	485,275
10月	99,187	95.5%	-4,633	103,820
11月	91,446	132.9%	+22,647	68,799
12月	101,111	157.8%	+37,052	64,059
10-12月計	291,744	123.3%	+55,066	236,678
1月	99,813	185.6%	+46,046	53,767
2月	75,847	99.4%	-4,494	76,341
3月	0	0.0%	-86,117	86,117
1-3月計	175,660	81.2%	-40,565	216,225
年度計	1,092,846	116.5%	+154,668	938,178

●久米島 久米島町観光協会	2024			
	2024	前年比	前年増減	2023
上期計	43,488	96.7%	-1,476	44,964
10月	8,139	93.0%	-613	8,752
11月	7,180	92.7%	-567	7,747
12月	7,597	102.4%	+180	7,417
10-12月計	22,916	95.8%	-1,000	23,916
1月	7,479	109.1%	+625	6,854
2月	7,490	107.4%	+516	6,974
3月	0	0.0%	-7,374	7,374
1-3月計	14,969	70.6%	-6,233	21,202
下期計	37,885	84.0%	-7,233	45,118
年度計	81,373	90.3%	-8,709	90,082

●座間味村 座間味村役場産業振興課	2024			
	2024	前年比	前年増減	2023
上期計	71,194	112.9%	+8,162	63,032
10月	10,131	99.9%	-15	10,146
11月	5,810	110.1%	+531	5,279
12月	3,075	128.0%	+673	2,402
10-12月計	19,016	106.7%	+1,189	17,827
1月	3,687	123.5%	+701	2,986
2月	4,088	92.6%	-325	4,413
3月	0	0.0%	-6,737	6,737
1-3月計	7,775	55.0%	-6,361	14,136
下期計	26,791	83.8%	-5,172	31,963
年度計	97,985	102.1%	+2,023	95,962

●渡嘉敷村 渡嘉敷村商工観光課	2024			
	2024	前年比	前年増減	2023
上期計	82,952	119.2%	+13,342	69,610
10月	13,558	116.8%	+1,946	11,612
11月	6,267	101.4%	+87	6,180
12月	5,167	112.6%	+580	4,587
10-12月計	24,992	111.7%	+2,613	22,379
1月	4,194	92.3%	-349	4,543
2月	0	0.0%	-5,435	5,435
3月	0	0.0%	-8,440	8,440
1-3月計	4,194	22.8%	-14,224	18,418
下期計	29,186	71.5%	-11,611	40,797
年度計	112,138	101.6%	+1,731	110,407

3. 入域数／航路別入域実績

※「海外その他」には乗務員等を一括計上

国内 海外	上期計				12月		10-12月計		1月		2月		1-3月計		下期計			年度計			
	入域数	入域数	対前年	対前年	入域数	対前年	入域数	対前年	入域数	対前年	入域数	対前年	入域数	対前年	入域数	入域数	対前年	入域数	入域数	対前年	対前年
	(人)	(%)	(人)	増減数	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)
札幌	24,600	0.5%	+5,000	17	3,900	△100	12,300	△100	4,100	100	3,900	0	8,000	+100	20,300	0.6%	0	44,900	0.5%	+5,000	19
仙台	26,600	0.5%	+5,000	8	5,200	1,100	16,500	+3,400	5,300	1,300	5,500	200	10,800	+1,500	27,300	0.7%	+4,900	53,900	0.6%	+9,900	9
福島	0	0.0%	+0	19	0	△100	400	+0	100	0	0	0	100	+0	500	0.0%	+0	500	0.0%	+0	22
新潟	3,900	0.1%	△2,300	25	2,900	500	5,400	△1,600	1,900	400	2,400	200	4,300	+600	9,700	0.0%	△1,000	13,600	0.2%	△3,300	26
富山	0	0.0%	+0	19	100	100	100	+100	0	0	100	100	100	+100	200	0.0%	+200	200	0.0%	+200	20
小松	17,300	0.3%	+1,400	13	2,900	100	10,300	+900	2,600	200	3,000	△100	5,600	+100	15,900	0.4%	+1,000	33,200	0.4%	+2,400	14
東京	1,874,500	37.8%	+78,100	1	298,400	15,900	955,900	+48,300	274,400	33,600	294,600	18,300	569,000	+51,900	1,524,900	41.4%	+100,200	3,399,400	39.3%	+178,300	1
茨城	20,500	0.4%	+200	18	3,600	600	11,100	+900	3,300	0	3,500	0	6,800	+0	17,900	0.5%	+900	38,400	0.4%	+1,100	18
静岡	9,800	0.2%	+1,800	10	2,900	2,100	8,400	+5,100	2,100	1,600	2,800	2,700	4,900	+4,300	13,300	0.4%	+9,400	23,100	0.3%	+11,200	8
名古屋	317,600	6.4%	△5,700	26	51,500	5,400	161,300	+10,100	48,000	3,700	54,200	3,900	102,200	+7,600	263,500	7.1%	+17,700	581,100	6.7%	+12,000	7
関西	260,700	5.3%	+24,100	3	43,200	4,300	128,400	+9,800	38,100	3,000	38,500	400	76,600	+3,400	205,000	5.6%	+13,200	465,700	5.4%	+37,300	3
伊豆	403,300	8.1%	+9,900	5	57,200	4,800	188,800	+9,000	54,800	6,500	60,600	4,600	115,400	+11,100	304,200	8.2%	+20,100	707,500	8.2%	+30,000	4
神戸	173,100	3.5%	+12,600	4	24,600	△300	82,500	+2,800	23,600	△100	25,800	△1,500	49,400	△1,600	131,900	3.6%	+1,200	305,000	3.5%	+13,800	5
岡山	22,400	0.5%	+900	15	3,200	500	10,600	+600	3,100	0	3,700	100	6,800	+100	17,400	0.5%	+700	39,800	0.5%	+1,600	11
広島	26,600	0.5%	+2,400	9	5,400	1,300	15,100	+2,300	4,400	900	5,400	1,200	9,800	+2,100	24,900	0.7%	+4,400	51,500	0.6%	+6,800	11
岩国	18,300	0.4%	+1,800	10	2,800	△200	9,500	+200	2,600	400	3,000	△100	5,600	+300	15,100	0.4%	+500	33,400	0.4%	+2,300	15
高松	29,200	0.6%	+6,300	7	3,800	300	12,300	+1,900	3,700	900	3,700	△100	7,400	+800	19,700	0.5%	+2,700	48,900	0.6%	+9,000	10
山梨	18,400	0.4%	+900	15	2,800	200	9,500	+300	2,900	300	3,000	△200	5,900	+100	15,400	0.4%	+400	33,800	0.4%	+1,300	17
高知	0	0.0%	+0	19	300	200	300	+100	100	△100	0	0	100	△100	400	0.0%	+0	400	0.0%	+0	22
福岡	467,300	9.4%	+32,500	2	79,200	4,000	248,200	+9,600	73,000	5,500	74,700	500	147,700	+6,000	395,900	10.7%	+15,600	863,200	10.0%	+48,100	2
北九州	0	0.0%	+0	19	0	0	0	+0	0	0	0	0	0	+0	0	0.0%	+0	0	0.0%	+0	22
長崎	0	0.0%	+0	19	0	0	0	+0	100	100	0	0	100	+100	100	0.0%	+100	100	0.0%	+100	21
熊本	20,100	0.4%	+1,300	14	3,700	800	11,000	+1,200	3,600	200	3,400	200	7,000	+400	18,000	0.5%	+1,600	38,100	0.4%	+2,900	13
大分	0	0.0%	+0	19	0	0	0	+0	0	0	0	0	0	+0	0	0.0%	+0	0	0.0%	+0	22
宮崎	17,700	0.4%	+1,700	12	3,100	700	9,700	+1,000	3,200	400	3,300	200	6,500	+600	16,200	0.4%	+1,600	33,900	0.4%	+3,300	12
鹿児島	70,000	1.4%	+8,400	6	11,300	1,700	35,400	+2,700	11,300	1,700	10,500	900	21,800	+2,600	57,200	1.6%	+5,300	127,800	1.5%	+13,700	6
その他	5,700	0.1%	△17,000	27	300	△3,100	600	△6,500	500	△2,600	600	300	1,100	△2,300	1,700	0.0%	△8,800	7,400	0.1%	△25,800	27
台湾	498,000	10.0%	+252,600	-	62,600	+26,900	189,400	+75,400	0	+0	0	+0	0	+0	189,400	5.1%	+75,400	687,400	7.9%	+328,000	-
韓国	202,500	4.1%	+73,900	-	45,700	+18,800	120,100	+44,900	0	+0	0	+0	0	+0	120,100	3.3%	+44,900	322,600	3.7%	+118,800	-
中国本土	155,500	3.1%	+136,400	-	23,800	+19,600	86,200	+71,000	0	+0	0	+0	0	+0	86,200	2.3%	+71,000	241,700	2.8%	+207,400	-
香港	90,300	1.8%	+21,900	-	24,500	+8,200	50,700	+10,000	0	+0	0	+0	0	+0	50,700	1.4%	+10,000	141,000	1.6%	+31,900	-
アメリカ	18,100	0.4%	+7,500	-	5,700	+3,700	18,500	+6,600	0	+0	0	+0	0	+0	18,500	0.5%	+6,600	36,600	0.4%	+14,100	-
カナダ	4,100	0.1%	+1,700	-	1,800	+1,200	4,700	+500	0	+0	0	+0	0	+0	4,700	0.1%	+500	8,800	0.1%	+2,200	-
イギリス	4,400	0.1%	+1,400	-	1,100	+600	3,200	+500	0	+0	0	+0	0	+0	3,200	0.1%	+600	7,600	0.1%	+2,000	-
フランス	1,800	0.0%	+1,000	-	100	+0	1,100	+600	0	+0	0	+0	0	+0	1,100	0.0%	+600	2,900	0.0%	+1,600	-
タイ	8,900	0.2%	+5,000	-	2,700	+2,300	6,300	+5,300	0	+0	0	+0	0	+0	6,300	0.2%	+5,300	15,200	0.2%	+10,300	-
シンガポール	7,300	0.1%	+6,000	-	4,300	+1,700	8,700	+4,100	0	+0	0	+0	0	+0	8,700	0.2%	+4,100	16,000	0.2%	+10,100	-
マレーシア	3,600	0.1%	+2,300	-	1,300	+400	2,800	+900	0	+0	0	+0	0	+0	2,800	0.1%	+900	6,400	0.1%	+3,200	-
インドネシア	1,600	0.0%	+1,000	-	800	+600	1,300	+700	0	+0	0	+0	0	+0	1,300	0.0%	+700	2,900	0.0%	+1,700	-
オーストラリア	3,800	0.1%	+1,800	-	1,100	+600	3,300	+100	0	+0	0	+0	0	+0	3,300	0.1%	+100	7,100	0.1%	+1,900	-
その他※	132,700	2.7%	+87,600	-	28,600	+24,300	74,600	+48,500	0	+0	0	+0	0	+0	74,600	2.0%	+48,500	207,300	2.4%	+136,100	-
総計	4,960,800	100%	+764,900	-	816,400	+149,700	2,514,500	+371,300	566,800	+58,000	+606,200	+31,800	1,173,000	+89,800	3,687,500	100.0%	+461,100	8,648,300	100.0%	+8,045,400	-

※その他には乗務員含む

4. 修学旅行入込人数調査予測 (令和7年3月5日時点予約数 OCVB調査 回答数7/15社)

令和6年度教育旅行推進強化事業

年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
H30	26,033 (218)	54,779 (429)	34,575 (217)	3,253 (27)	37 (1)	11,698 (67)	80,400 (382)	85,195 (389)	71,947 (386)	24,641 (122)	15,738 (104)	15,185 (86)	423,481 (2,428)
R5	15,191 (122)	38,360 (287)	27,240 (176)	3,279 (25)	165 (4)	6,907 (40)	68,201 (335)	83,200 (386)	53,320 (292)	14,747 (88)	16,979 (104)	11,563 (74)	339,152 (1,933)
R6	18,916 (140)	44,618 (336)	30,894 (199)	2,900 (23)	245 (4)	12,256 (54)	61,933 (305)	69,013 (320)	52,262 (275)	18,090 (97)	18,497 (96)	11,992 (79)	341,616 (1,928)

※()内は学校数

5. 入域数／エリア構成比 (24年度累計／同期比)

国内入域エリア別

海外入域エリア別

	構成比	
	比率	前年差
東日本	52.0%	△0.1%
中部	8.4%	△0.8%
関西・中四国	24.3%	+0.3%
九州	15.3%	+0.6%

	構成比	
	比率	前年差
台湾	40.4%	△1.4%
韓国	18.9%	△3.4%
中国本土	14.2%	+7.9%
香港	8.3%	△3.5%
海外その他	18.2%	+0.4%

6. 航空旅客輸送実績／需給バランス (数値について) ※国内数値は、沖繩県観光政策発表表より引用、外国数値はOCVB独自調査によるもの
 ※いずれも沖縄向け(定期路線、下り便)の数値
 ※国内は、チャーター便など不定期路線およびLCCの輸送実績が含まれていません
 ※外国は、チャーター便など不定期路線および各国一部航空会社の輸送実績が含まれていません

参考数値

● 月ごとの供給/需要/利用率

												参考値			
												FSC・LCC内訳			
	上期計	10月	11月	12月	10-12月計	1月	2月	3月	1-3月計	下期計	年度計		FSC	LCC	
国内	提供座席	4,889,607	821,604	793,395	818,897	2,433,896	802,041	727,531	0	1,529,572	3,963,468	8,853,075			
	輸送実績	3,888,719	712,711	668,434	643,745	2,024,890	581,902	628,932	0	1,210,834	3,235,724	7,124,443			
	利用率	79.5	86.7	84.2	78.6	83.2	72.6	86.4	-	79.2	81.6	80.5			
海外	提供座席	736,328	135,579	143,114	139,565	418,258	149,069	148,657	0	297,726	715,984	1,452,312			
	輸送実績	650,589	111,235	111,807	109,976	333,018	127,664	119,709	0	247,373	580,391	1,230,980			
	利用率	88.4	82.0	78.1	78.8	79.6	85.6	80.5	-	83.1	81.1	84.8			
合計	提供座席	5,632,539	970,673	942,052	818,897	2,731,622	802,041	727,531	0	1,529,572	4,261,194	9,893,733			
	輸送実績	4,534,282	840,375	788,143	643,745	2,272,263	581,902	628,932	0	1,210,834	3,483,097	8,017,379			
	利用率	80.5	86.6	83.7	78.6	83.2	72.6	86.4	-	79.2	81.7	81.0			
													令和7年2月	520,900	83,500
													令和6年2月	488,800	84,000
													増減数	+32,100	△500
													前年同月比	106.6%	99.4%
													FSC・LCC比率	86.2%	13.8%

参考数値

● 路線別の供給/需要/利用率 (国内累計)

国内		輸送実績 (需要)				提供座席 (供給)				利用率			需給	概況
発地	着地	2024年度 累計	2023年度 同期累計	同期比		2024年度 累計	2023年度 同期累計	同期比		2024年度 累計	2023年度 同期累計	増減	前年比 差異	
				前年比	増減			前年比	増減					
札幌	那覇	0	0		+0	0	0		+0	-				○
仙台	那覇	64,823	52,953	122.4%	+11,870	87,448	65,678	133.1%	+21,770	74%	81%	△6%	△11%	×
新潟	那覇	16,378	20,271	80.8%	△3,893	29,548	35,026	84.4%	△5,478	55%	58%	△2%	△4%	△
小松	那覇	39,744	36,970	107.5%	+2,774	54,615	54,120	100.9%	+495	73%	68%	+4%	+7%	○
茨城	那覇	46,777	45,338	103.2%	+1,439	58,941	58,056	101.5%	+885	79%	78%	+1%	+2%	○
羽田	那覇	2,938,435	2,770,238	106.1%	+168,197	3,511,942	3,418,770	102.7%	+93,172	84%	81%	+3%	+3%	○
羽田	宮古	230,626	221,511	104.1%	+9,115	265,936	296,262	89.8%	△30,326	87%	75%	+12%	+14%	○
羽田	石垣	307,493	285,592	107.7%	+21,901	361,171	363,496	99.4%	△2,325	85%	79%	+7%	+8%	○
羽田	久米島	6,278	4,672	134.4%	+1,606	8,085	6,930	116.7%	+1,155	78%	67%	+10%	+18%	○
羽田	下地島	50,156	48,579	103.2%	+1,577	58,587	58,056	100.9%	+531	86%	84%	+2%	+2%	○
静岡	那覇	27,733	13,870	199.9%	+13,863	41,996	21,414	196.1%	+20,582	66%	65%	+1%	+4%	○
東日本エリア計		3,728,443	3,499,994	106.5%	+228,449	4,478,269	4,377,808	102.3%	+100,461	83%	80%	+3%	+4%	○
名古屋	那覇	531,709	466,540	114.0%	+65,169	656,707	609,189	107.8%	+47,518	81%	77%	+4%	+6%	○
名古屋	宮古	55,159	46,463	118.7%	+8,696	67,817	66,316	102.3%	+1,501	81%	70%	+11%	+16%	○
名古屋	石垣	53,078	44,568	119.1%	+8,510	67,798	66,658	101.7%	+1,140	78%	67%	+11%	+17%	○
中部エリア計		639,946	557,571	114.8%	+82,375	792,322	742,163	106.8%	+50,159	81%	75%	+6%	+8%	○
伊丹	那覇	558,789	512,225	109.1%	+46,564	672,443	644,181	104.4%	+28,262	83%	80%	+4%	+5%	○
伊丹	宮古	0	2,222	0.0%	△2,222	0	3,298	0.0%	△3,298	-	67%		+0%	-
伊丹	石垣	6,553	6,295	104.1%	+258	8,300	8,536	97.2%	△236	79%	74%	+5%	+7%	○
関西	那覇	278,594	234,457	118.8%	+44,137	378,490	360,724	104.9%	+17,766	74%	65%	+9%	+14%	○
関西	宮古	97,130	80,732	120.3%	+16,398	126,019	122,377	103.0%	+3,642	77%	66%	+11%	+17%	○
関西	石垣	83,265	73,600	113.1%	+9,665	104,054	107,248	97.0%	△3,194	80%	69%	+11%	+16%	○
神戸	那覇	310,409	292,624	106.1%	+17,785	413,961	405,245	102.2%	+8,716	75%	72%	+3%	+4%	○
神戸	下地島	46,697	44,729	104.4%	+1,968	58,764	57,879	101.5%	+885	79%	77%	+2%	+3%	○
岡山	那覇	48,191	46,460	103.7%	+1,731	56,760	55,605	102.1%	+1,155	85%	84%	+1%	+2%	○
広島	那覇	61,868	54,043	114.5%	+7,825	75,735	63,828	118.7%	+11,907	82%	85%	△3%	△4%	△
岩国	那覇	40,574	37,715	107.6%	+2,859	55,111	54,006	102.0%	+1,105	74%	70%	+4%	+6%	○
高松	那覇	58,674	48,196	121.7%	+10,478	81,676	67,963	120.2%	+13,713	72%	71%	+1%	+2%	○
松山	那覇	40,982	39,277	104.3%	+1,705	55,106	54,281	101.5%	+825	74%	72%	+2%	+3%	○
関西・中四国エリア計		1,631,726	1,472,575	110.8%	+159,151	2,086,419	2,005,171	104.1%	+81,248	78%	73%	+5%	+7%	○
福岡	那覇	751,816	688,435	109.2%	+63,381	1,028,784	999,375	102.9%	+29,409	73%	69%	+4%	+6%	○
熊本	那覇	45,658	42,383	107.7%	+3,275	54,941	54,114	101.5%	+827	83%	78%	+5%	+6%	○
宮崎	那覇	162,889	149,903	108.7%	+12,986	198,225	199,634	99.3%	△1,409	82%	75%	+7%	+9%	○
鹿児島	那覇	67,950	60,920	111.5%	+7,030	93,274	89,097	104.7%	+4,177	73%	68%	+4%	+7%	○
与論	那覇	30,417	13,068	232.8%	+17,349	36,446	18,600	195.9%	+17,846	83%	70%	+13%	+37%	○
沖永良部	那覇	11,977	10,920	109.7%	+1,057	15,574	15,360	101.4%	+214	77%	71%	+6%	+8%	○
九州エリア計		1,071,681	965,629	111.0%	+106,052	1,428,794	1,376,180	103.8%	+52,614	75%	70%	+5%	+7%	○
国内/合計		7,071,796	6,495,769	108.9%	+576,027	8,785,804	8,501,322	103.3%	+284,482	80%	76%	+4%	+6%	○

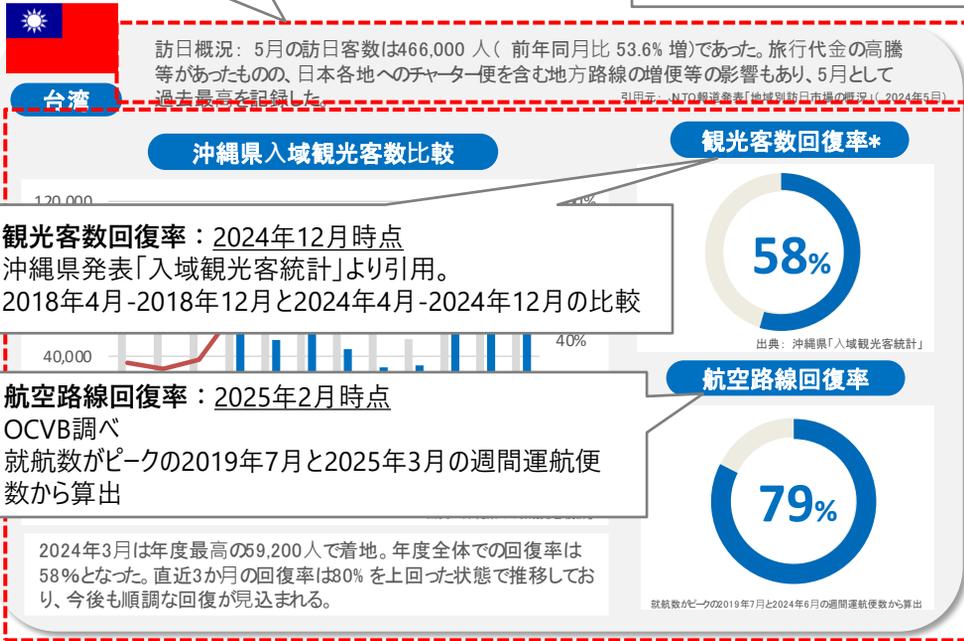
概況について ※一部実績が含まれていないため、参考としてください。
 ○ 実績(前年比)が、座席提供数(前年比)を上回る
 △ 実績(前年比)が、座席提供数(前年比)を下回る(±0~▲%)
 × 実績(前年比)が、座席提供数(前年比)を下回る(▲5%以上)

※海外路線の情報に関しては、入域観光客数(国別)8pならびに就航便数16pでご確認ください。

市場別概況の表の見方

訪日概況：2025年2月時点
JNTO報道発表
「地域別訪日市場の概況」より引用。

沖縄県入域観光客数概況：2024年12月時点
沖縄県発表「入域観光客統計」より引用。
※法務省出入国在留管理庁公表資料を参照しているため、
3か月後の同庁の公表後に確定版として公表。



市場別概況

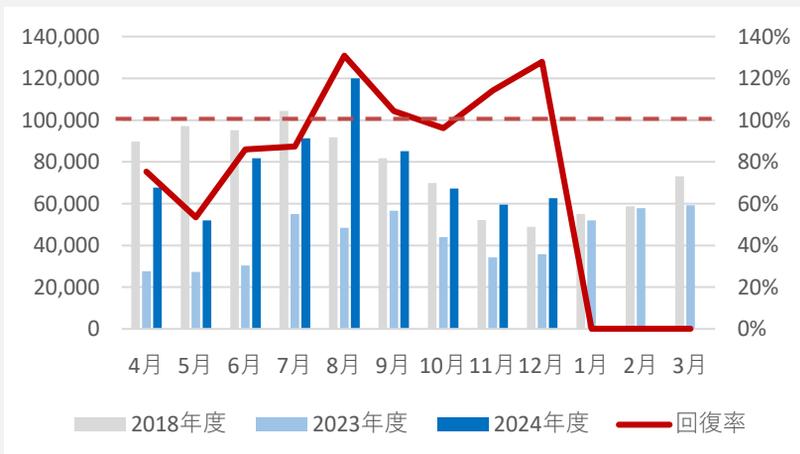


台湾

訪日概況：2月の訪日客数は、507,300人（前年同月比1.0%増）であった。1月下旬から始まった春節休暇に加え、地方へのチャーター便を含む地方路線による航空座席数の増加の影響もあり、訪日外客数は2月として過去最高を記録した。

引用元：JNTO報道発表「地域別訪日市場の概況」（2025年2月）

沖縄県入域観光客数比較



出典：沖縄県「入域観光客統計」

観光客数回復率
(4-12月累計)



*観光客数回復率は2018年4-12月と2024年4-12月の比較
出典：沖縄県「入域観光客統計」

航空路線回復率



就航数がピークの2019年7月と2025年3月の週間運航便数から算出

訪沖概況：2024年12月は那覇-台中路線の新規就航があったことなどから、62,600人（回復率128%）の訪沖となった。



韓国

訪日概況：2月の訪日客数は847,300人（前年同月比 3.5%増）であった。為替レートがウォン安傾向になったものの、仁川～熊本間や仁川～新千歳間等の期間増便や清州～帯広間等のチャーター便運航等の影響もあり、訪日外客数は2月として過去最高を記録した。

引用元：JNTO報道発表「地域別訪日市場の概況」（2025年2月）

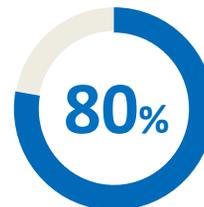
沖縄県入域観光客数比較



出典：沖縄県「入域観光客統計」

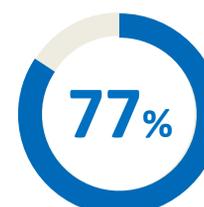
訪沖概況：2024年12月は那覇-釜山路線(12月19日～)の新規就航があったこと、年末の旅行需要の高まりから輸送実績が全体的に好調であったこと等から45,700人（回復率87%）の訪沖となった。

観光客数回復率
(4-12月累計)



*観光客数回復率は2018年4-12月と2024年4-12月の比較
出典：沖縄県「入域観光客統計」

航空路線回復率



就航数がピークの2019年7月と2025年3月の週間運航便数から算出

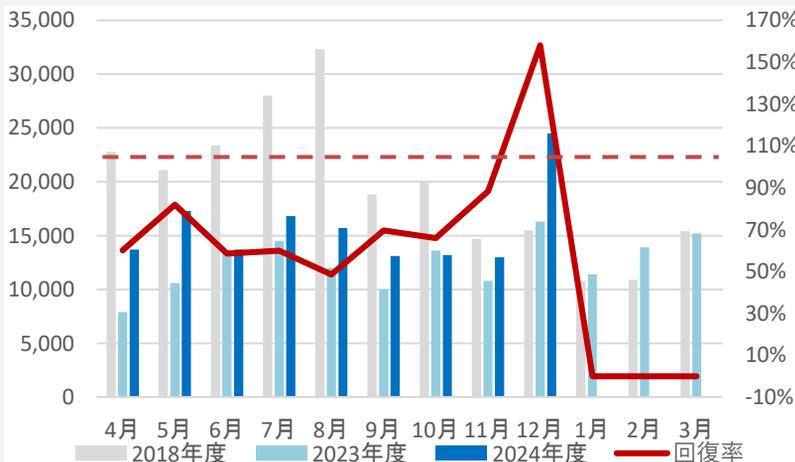


香港

訪日概況：2月の訪日客数は、195,500人（前年同月比 5.0%減）であった。前年同月と比較して地方路線を含む増便等の影響により航空座席数が増加したものの、前年との旧正月休暇時期の違いにより訪日外客数は前年同月を下回った。

引用元：JNTO報道発表「地域別訪日市場の概況」（2025年2月）

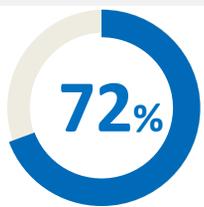
沖縄県入域観光客数比較



出典：沖縄県「入域観光客統計」

訪沖概況：2024年12月は、年末の旅行需要の高まりから24,500人（回復率158%）と、単月として過去最高の訪沖者数となった。

観光客数回復率
(4-12月累計)



*観光客数回復率は2018年4-12月と2024年4-12月の比較
出典：沖縄県「入域観光客統計」

航空路線回復率



就航数がピークの2019年7月と2025年3月の週間運航便数から算出

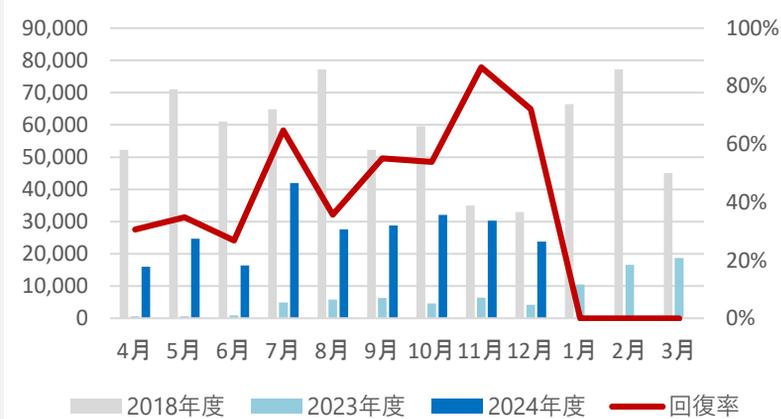


中国

訪日概況：2月の訪日客数は、722,700人（前年同月比 57.3%増）であった。1月下旬から始まったスクールホリデーと春節休暇に加え、大連～成田間、深セン～成田間、広州～福岡間等の増便等の影響や昨今の情勢を踏まえ、競合国よりも日本を選択する動きが見られたこともあり、訪日外客数は前年同月を上回った。

引用元：JNTO報道発表「地域別訪日市場の概況」（2025年2月）

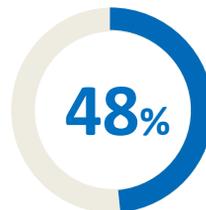
沖縄県入域観光客数比較



出典：沖縄県「入域観光客統計」

訪沖概況：2024年12月は前月の30,300人から6,500人減となる23,800人（回復率72%）の訪沖者数となった。

観光客数回復率
(4-12月累計)



*観光客数回復率は2018年4-12月と2024年4-12月の比較
出典：沖縄県「入域観光客統計」

航空路線回復率



就航数がピークの2019年7月と2025年2月の週間運航便数から算出

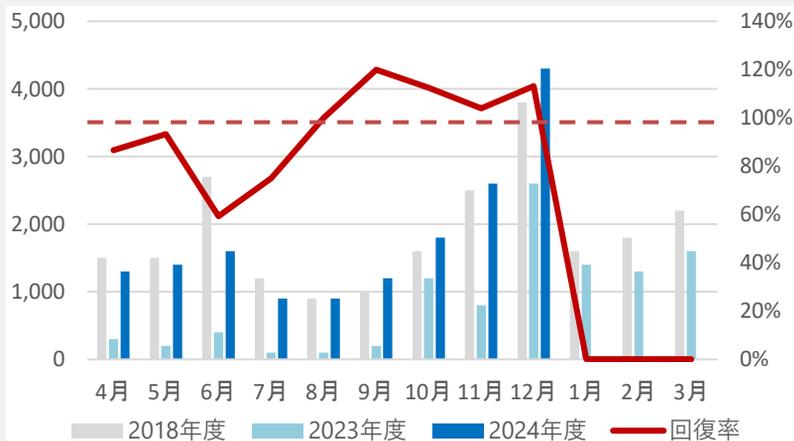


シンガポール

訪日概況：2月の訪日客数は、42,300人（前年同月比 14.6%増）であった。シンガポール～関西間などの直行便の増加、広告などの各種プロモーションの影響等もあり、訪日外客数は2月として過去最高を記録した。

引用元：JNTO報道発表「地域別訪日市場の概況」（2025年2月）

沖縄県入域観光客数比較



出典：沖縄県「入域観光客統計」

訪沖概況：2024年12月は2018年同月比113%となる4,300人の訪沖者数となった。

観光客数回復率
(4-12月累計)



*観光客数回復率は2018年4-12月と2024年4-12月の比較
出典：沖縄県「入域観光客統計」

航空路線回復率



就航数がピークの2019年7月と2025年2月の週間運航便数から算出

7. エリア概況（海外） タイ・マレーシア

タイ

訪日概況：2月の訪日客数は、116,800人（前年同月比 15.1%増）であった。査証免除措置による訪中旅行への人気の高まり等あるものの、継続する冬季の日本人気や、バンコク～中部間の増便など直行便数の増加等の影響もあり、訪日外客数は2月として過去最高を記録した。

引用元：JNTO報道発表「地域別訪日市場の概況」（2025年2月）

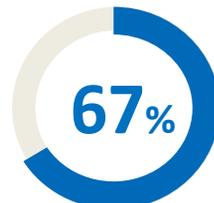
沖縄県入域観光客数比較



出典：沖縄県「入域観光客統計」

訪沖概況：2024年12月は2024年度で最も多い2,700人の訪沖があったが、回復率は93%にとどまる。

観光客数回復率 (4-12月累計)



*観光客数回復率は2018年4-12月と2024年4-12月の比較
出典：沖縄県「入域観光客統計」

航空路線回復率



就航数がピークの2019年7月と2025年2月の週間運航便数から算出

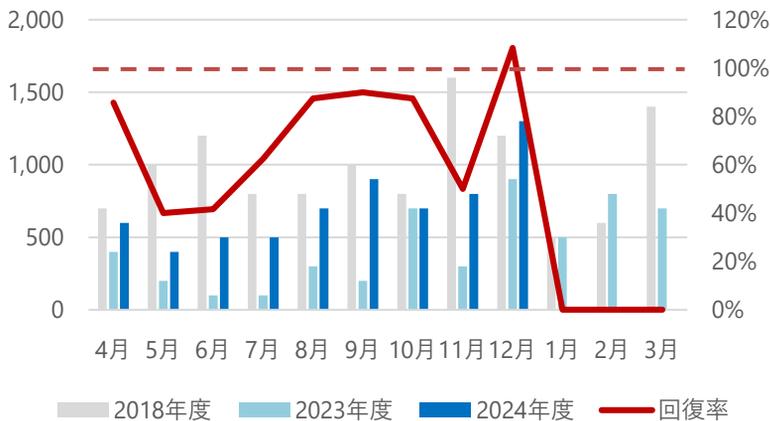


マレーシア

訪日概況：2月の訪日客数は64,900人（前年同月比 7.8%増）であった。査証免除措置による訪中旅行への人気の高まり等あるものの、クアラルンプール～新千歳間の増便、マレーシアリングット高や景況感の回復等の影響もあり、2月として過去最高を記録した。

引用元：JNTO報道発表「地域別訪日市場の概況」（2025年2月）

沖縄県入域観光客数比較



出典：沖縄県「入域観光客統計」

訪沖概況：2024年12月は2018年同月を上回る1,300人（8%増）の訪沖者数となった。

観光客数回復率 (4-12月累計)



*観光客数回復率は2018年4-12月と2024年4-12月の比較
出典：沖縄県「入域観光客統計」

航空路線回復率



就航数がピークの2019年7月は就航がなかったため
2025年2月の週間運航便数は5便増としています

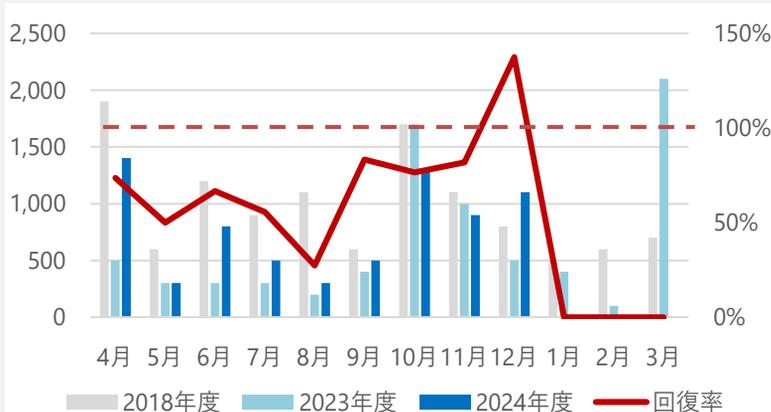


オーストラリア

訪日概況：2月の訪日客数は、88,800人（前年同月比 33.5%増）であった。豪州からのアウトバウンド需要自体が増加している中、継続する訪日旅行の人気やウィンタースポーツ等を目的とした訪日需要に加え、前年同月と比較して直行便数が増加したことの影響等もあり、訪日外客数は2月として過去最高を記録した。

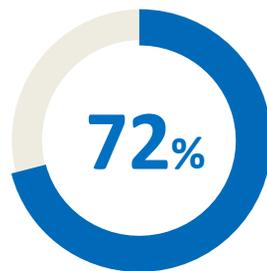
引用元：JNTO報道発表「地域別訪日市場の概況」（2025年2月）

沖縄県入域観光客数比較



出典：沖縄県「入域観光客統計」

観光客数回復率
(4-12月累計)



*観光客数回復率は2018年4-12月と2024年4-12月の比較

出典：沖縄県「入域観光客統計」

訪沖概況：2024年12月は2018年同月比138%となる1,100人の訪沖者数となった。

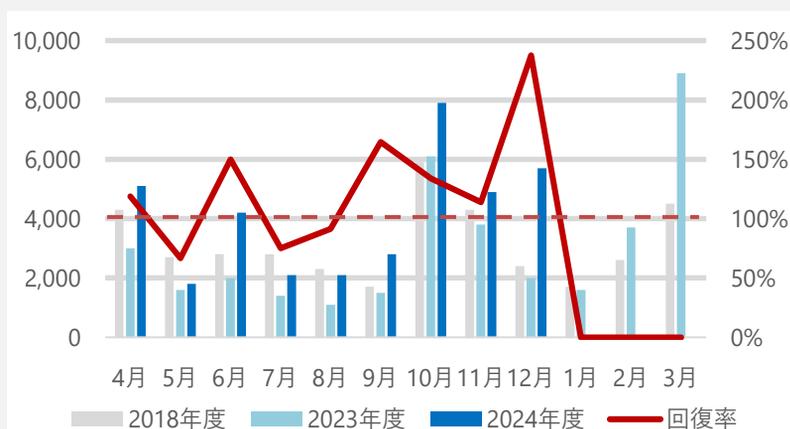


アメリカ

訪日概況：2月の訪日客数は、191,500人（前年同月比 28.8%増）であった。継続する訪日旅行の人気や混雑するシーズンを避け2月に訪日する動きやウィンタースポーツ等を目的とした訪日需要もあり、訪日外客数は2月として過去最高を記録した。

引用元：JNTO報道発表「地域別訪日市場の概況」（2025年2月）

沖縄県入域観光客数比較



出典：沖縄県「入域観光客統計」

観光客数回復率
(4-12月累計)



*観光客数回復率は2018年4-12月と2024年4-12月の比較

出典：沖縄県「入域観光客統計」

訪沖概況：2024年12月は2018年同月を大きく上回る5,700人の訪沖者数となった。4-12月の累計観光客数回復率も125%と好調に推移している。

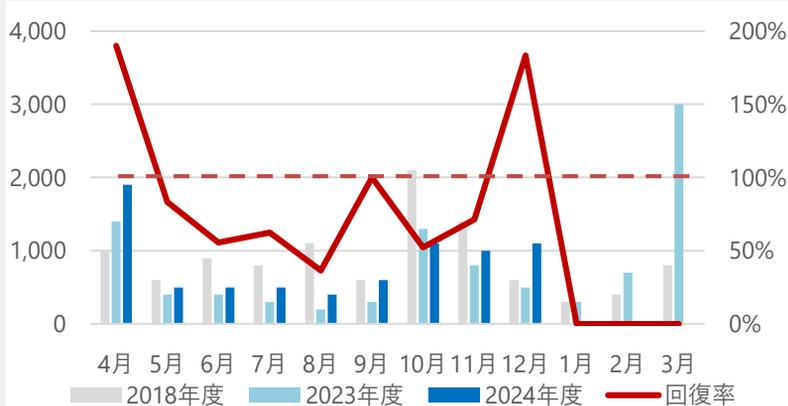


イギリス(本国)

訪日概況：2月の訪日客数は、31,400人（前年同月比 21.3%増）であった。継続する訪日旅行人気やスノー需要の伸びに加え、中国経由等の経路便の多様化の影響等もあり、訪日外客数は2月として過去最高を記録した。

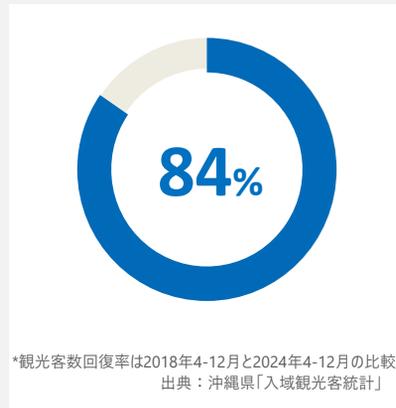
引用元：JNTO報道発表「地域別訪日市場の概況」（2025年2月）

沖縄県入域観光客数比較

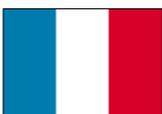


出典：沖縄県「入域観光客統計」

観光客数回復率
(4-12月累計)



訪沖概況：2024年12月は前月より100人多い1,100人（回復率183%）の来沖者数となった。

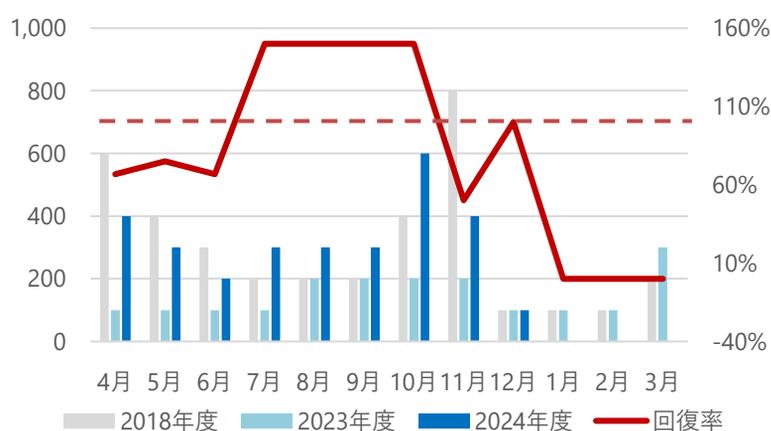


フランス

訪日概況：2月の訪日客数は、26,500人（前年同月比 19.0%増）であった。継続する訪日旅行人気や若年層の訪日需要の高まりに加え、2月中旬から始まったスクールホリデーの影響もあり、訪日外客数は2月として過去最高を記録した。

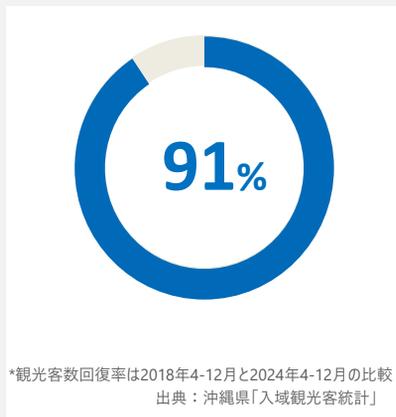
引用元：JNTO報道発表「地域別訪日市場の概況」（2025年2月）

沖縄県入域観光客数比較



出典：沖縄県「入域観光客統計」

観光客数回復率
(4-12月累計)



訪沖概況：2024年12月は2018年同月と同数の100人の来沖者数となった。

海外プロモーション課 那覇着 国際線状況

●国際線スケジュール(2025年3月31日現在)

最新のスケジュール、運航状況は航空各社のHP等ご確認ください。出発/到着時刻は現地時刻です。

【台湾路線】

230 便/週

【定期便まとめ】

発着地	航空会社	便名	現地発時刻	到着時刻	備考
台北→那覇	エバー航空	BR112	06:45	09:15	デイリー運航
台北→那覇	タイガーエア台湾	IT230	06:50	09:20	デイリー運航
台北→那覇	チャイナエアライン	CI120	08:00	10:45	デイリー運航
台北→那覇	ピーチエアージェン	MM922	09:35	12:20	デイリー運航
台北→那覇	スターラックス航空	JX870	12:00	14:40	デイリー運航
台北→那覇	ピーチエアージェン	MM926	14:35	17:20	デイリー運航
台北→那覇	エバー航空	BR186	16:25	18:55	デイリー運航
台北→那覇	チャイナエアライン	CI122	17:05	19:45	デイリー運航
台北→那覇	ピーチエアージェン	MM928	18:05	20:50	デイリー運航
台北→那覇	タイガーエア台湾	IT232	18:20	20:50	デイリー運航
台中→那覇	スターラックス航空	JX 302	13:10	15:45	月火水木土日
高雄→那覇	タイガーエア台湾	IT288	10:15	13:00	デイリー運航
高雄→那覇	チャイナエアライン	CI132	15:55	18:45	月・水・金

路線	便数	備考
那覇台北	70 便/週	5 社運航
那覇台中	6 便/週	1 社運航
那覇高雄	10 便/週	2 社運航
那覇北京	2 便/週	1 社運航
那覇上海	18 便/週	2 社運航
那覇福州	2 便/週	1 社運航
那覇仁川	42 便/週	6 社運航
那覇釜山	14 便/週	2 社運航
那覇香港	28 便/週	2 社運航
那覇バンコク	22 便/週	2 社運航
那覇クアラルンプール	5 便/週	1 社運航
那覇シンガポール	6 便/週	1 社運航
下地仁川	5 便/週	1 社運航
全路線計	230 便/週	27 社運航
便数回復率	89.8%	

※回復率は2019年7月の週間便数(256)を100として算出

【中国路線】

発着地	航空会社	便名	現地発時刻	到着時刻	備考
北京→那覇	中国国際航空	CA831	12:30	17:00	水・土
上海→那覇	中国東方航空	MU2085	09:50	13:30	デイリー運航
上海→那覇	春秋航空	9C6977	10:35	14:00	月・水・金・日
上海→那覇	中国東方航空	MU 287	11:40	15:30	デイリー運航
福州→那覇	厦門航空	MF8731	15:15	19:00	木・日

【韓国路線】

発着地	航空会社	便名	現地発時刻	到着時刻	備考
仁川→那覇	アシアナ航空	OZ172	08:50	11:15	デイリー運航
仁川→那覇	大韓航空	KE755	09:10	11:40	デイリー運航
仁川→那覇	ジンエア	LJ341	09:55	12:20	デイリー運航
仁川→那覇	テーウェイ航空	TW281	11:00	13:35	デイリー運航
仁川→那覇	イースター航空	ZE631	11:30	14:00	デイリー運航
仁川→那覇	チェジュ航空	7C180 1	13:30	15:45	デイリー運航
釜山→那覇	イースター航空	ZE 963	08:00	10:00	デイリー運航
釜山→那覇	ジンエア	LJ371	08:05	10:05	デイリー運航



【香港路線】

発着地	航空会社	便名	現地発時刻	到着時刻	備考
香港→那覇	香港エクスプレス	UO820	07:00	10:40	デイリー運航
香港→那覇	香港航空	HX 676	07:25	11:00	デイリー運航
香港→那覇	香港航空	HX658	11:15	15:10	デイリー運航
香港→那覇	香港エクスプレス	UO824	15:50	19:30	デイリー運航

【バンコク路線】

発着地	航空会社	便名	現地発時刻	到着時刻	備考
バンコク→那覇	タイ・ライオン・エア	SL390※1	02:45	10:55	火・木・土・日
バンコク→那覇	タイエアアジア	FD240	08:40	15:05	火・木・土・日
バンコク→那覇	タイエアアジア	FD230※2	07:25	15:55	デイリー運航
バンコク→那覇	バトジェットタイランド	VZ568※2	08:50	17:05	デイリー運航

※1 高雄経由

※2 台北経由

※2 台北経由

【マレーシア路線】

発着地	航空会社	便名	現地発時刻	到着時刻	備考
クアラルンプール→那覇	バティックエア・マレーシア	OD882※3	07:20	15:50	月水金土日

※3 台北経由

【シンガポール路線】

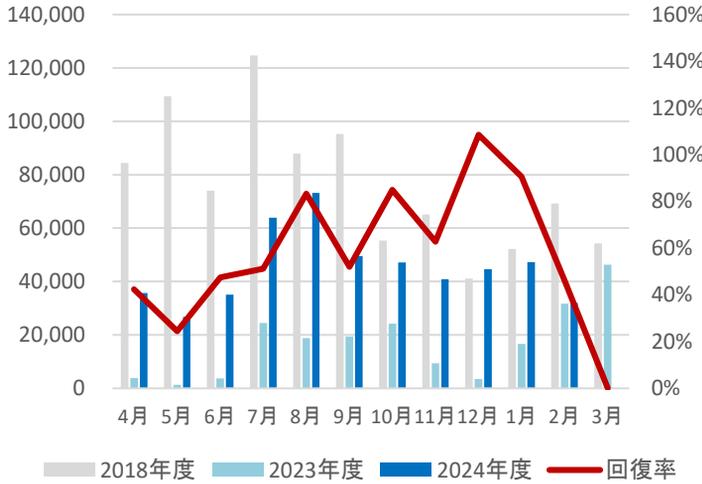
発着地	航空会社	便名	現地発時刻	到着時刻	備考
シンガポール→那覇	ジェットスターアジア	3K791	02:00	08:10	火水木金土日

【離島・下地島】

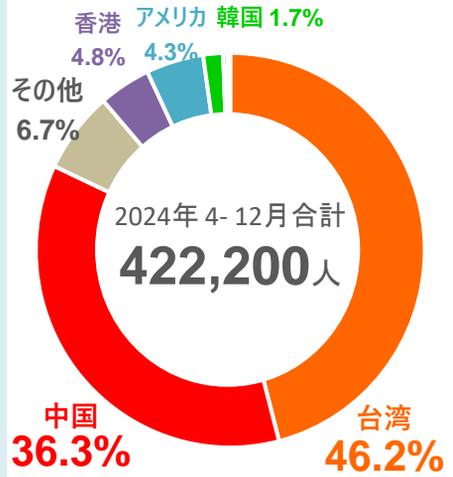
発着地	航空会社	便名	現地発時刻	到着時刻	備考
仁川→下地島	ジンエア	LJ357	08:10	10:45	月水木土日

クルーズ市場概況

クルーズ（外国客、海路） | 入域観光客数比較



国籍内訳（4-12月）



主要地域回復率（4-12月）

地域	回復率
台湾	103%
韓国	965%
中国	38%
香港	65%

出典：沖縄県「入域観光客統計」

*入域観光客数（海路、外国人）*乗務員除く

昨年10月まで国籍内訳の半数以上は台湾だったが、11月・12月は中国、香港、その他の入域が増加。2024年（暦年）の県内全体の寄港数は383回でコロナ前の2019年（ピーク時）と比較して回復率は65%にとどまっている。

*観光客数回復率は2018年4-12月と2024年4-12月の比較

※乗務員を除く

X（旧Twitter）にてクルーズ船の寄港情報を事前に発信

（一財）沖縄観光コンベンションビューローのクルーズ船公式アカウント。沖縄に寄港するクルーズ船の寄港情報を事前に地域の住民・事業者の皆様向けに発信します。クルーズ船寄港時のタクシー配車、店頭での販売強化など皆様のお役に立てば幸いです。以下のアカウント名より検索してフォローをお願いします。

アカウント名：【公式】沖縄クルーズ船寄港情報
 プロフィール URL：<https://twitter.com/OkinawaCruise>

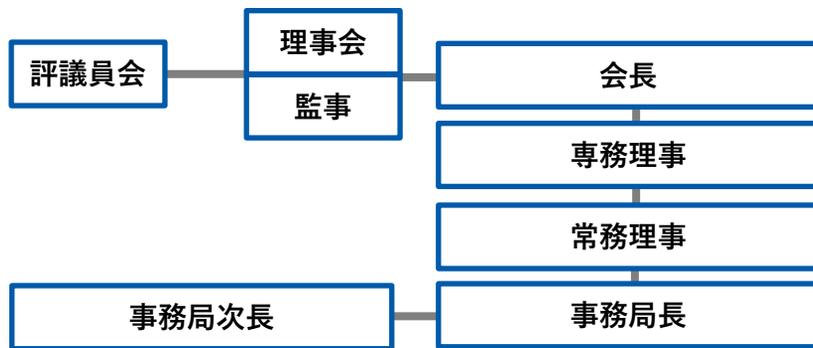


クルーズ船寄港情報

- 那覇港：<https://nahaport.jp/users/kyakusen/>
- 石垣港：<https://www.city.ishigaki.okinawa.jp/soshiki/kowan/kuruzusenn/370.html>
- 平良港：<https://www.city.miyakojima.lg.jp/soshiki/shityo/kensetsu/kouwan/>
- 本部港：<https://www.pref.okinawa.lg.jp/machizukuri/kowankuko/1013146/1022459/1022074.html>
- 中城湾港：<https://www.pref.okinawa.lg.jp/machizukuri/kowankuko/1013146/1022455/1013162.html>



一般財団法人沖縄観光コンベンションビューロー 組織図



総務企画部

海外・MICE事業部

国内事業部

■総務・経理

- ・組織、人事、給与、予算・決算
- ・財務、システム管理
- ・評議員会、理事会
- ・安全衛生委員会の運営
- ・OCVB職員研修（受入推進課連携）
- ・協賛、後援

■企画・プロジェクト

- ・観光目的税に関すること
- ・ワーケーションに関する事項
- ・SDGsに関する事項（横断的取組み）
- ・国関連事業
- ・OCVBと沖縄県のあり方検討関連事項
- ・経営戦略に関するプロジェクトチーム
- ・観光危機管理
- ・DMO関連事業（横断的取組み）
- ・おきなわ観光地域カルテ
- ・沖縄観光大使事務局運営
- ・OCVB News
- ・組織広報
- ・県内事業所との連携
- ・自主事業等
- ・賛助会員
- ・日本観光振興協会沖縄支部事務局運営及び本部等連携事業
- ・九州・沖縄観光連盟等連絡協議会
- ・ネットワーク強化に関する事項（MOU締結）
- ・ネットワーク強化に関する事項（沖縄ツーリズム産業団体協議会関連）
- ・その他

■ペナ海中公園事業所

■旧海軍司令部壕事業所

■海外プロモーション課

- ・海外観光客の誘致・受入
- ・海外航空路線の就航促進
- ・クルーズ観光の推進
- ・デジタルプロモーション(海外)
- ・その他

■MICE推進課

- ・MICEの誘致・受入
- ・MICE人材の育成および資源の開発
- ・県内MICE推進体制の構築
- ・MICE開催・受入サステナビリティガイドライン構築
- ・その他

■沖縄コンベンションセンター

■受入推進課

- ・地域観光協会等関連団体との連携
- ・観光客の受け入れ体制の整備
- ・沖縄教育旅行の推進
- ・フィルムツーリズムの推進
- ・その他

■人材育成センター

- ・観光人材育成関連業務
- ・インターンシップ受入等
- ・観光人材育成および観光啓発
- ・OCVB職員研修（総務企画部連携）

■国内プロモーション課

- ・国内観光客の誘致
- ・離島観光の促進
- ・スポーツツーリズムの推進
- ・東京事務所との連携
- ・デジタルプロモーション（国内）
- ・その他

■東京事務所

- ・国内観光客の誘致に関する事項
- ・沖縄教育旅行推進に関する事項
- ・MICEの誘致・受入全般に関する事項
- ・首都圏に関する市場調査
- ・その他

見通し

- ・国内市場は、旅行マインドが引き続き好調のため令和6年度を上回る
- ・海外市場は、空路・海路堅調、離島＝海外路線の回復もあり令和6年度を上回る

基本方針

質の高い観光の推進により沖縄観光の成長を目指す

【取り組み方針】

海外 -①航空路線の安定化

②国内外の空港をハブとした欧米豪からの誘客

③フライ&クルーズの促進

国内 -①エシカルトラベルの推進強化

②閑散期対策に係るプロモーション

③HP「おきなわ物語」を核とした各テーマサイト（離島・スポーツ）、デジタルPRの連携強化

受入 -①観光人材育成センターを核とした「観光従事者」「事業者」支援の強化（DX推進、人材確保・育成）

②修学旅行推進強化（関係者との連携強化、需要分散等）

③地域観光の受入体制強化（観光協会、DMOとの連携）

MICE-①「沖縄MICEネットワーク」活動強化→全県的な機運醸成

②関連団体と連携した海外MICE需要の開拓

財源確保-観光目的税（宿泊税）導入に向けての協議

キーワード

1. マーケティングの強化
2. 海外新たな需要喚起
3. 国内マーケットの拡充
4. 観光人材の育成・確保
5. 戦後80年
6. 沖縄国際海洋博覧会50周年
7. 大阪・関西万博
8. 九州沖縄サミット25周年
9. テーマパークの開園
10. 観光目的税（宿泊税）
11. 収益事業の安定化
12. 組織経営の安定化



1. 組織運営

- ①理事会、評議員会の開催
- ②監査対応
- ③各種規定、人事労務管理
- ④労働環境整備

2. 経費節減

- ①業務執行体制の見直しによる人件費及び超過勤務削減
- ②SDG s を意識した経費節減
- ③経費の見直し (特に、会議費、食糧費、出張旅費、消耗品・備品)

3. 広域連携事業

【主催】

- ①沖縄ツーリズム産業団体協議会の運営会議開催および要請活動
- ②日本観光振興協会沖縄事務局活動
- ③九州・沖縄観光連盟等連絡協議

【出席】

- ①沖縄県主催会議等
- ②各市町村主催会議等
- ③経済団体主催会議等

4. 賛助会員事業

- ①賛助会員数 614社 (3/1時点)
- ②賛助会員へのメルマガ配信 (毎週2回配信)
- ③事業説明会等の開催
- ④賛助会員交流会の開催
- ⑤各種セミナー開催 (オンラインなども活用)
- ⑥賛助会員交流掲示板の本格運用 令和8年1月1日より開始

5. 職員の働きがい創出

- ①職員一人ひとりが自らの能力向上のため、各種研修機会を増やす
- ②一人ひとりが「働きがい」を感じることのできる職場づくりを目指す
 - ・「ノー残業デー」の継続によるライフワークバランスの強化
 - ・年次有給休暇の計画的な取得促進
 - ・生産性向上に向けた取組促進
- ③一人ひとりが「安心」して働ける職場づくり
 - ・各種ハラスメント研修の実施
 - ・法令遵守・社会倫理遵守のためのコンプライアンス研修等の実施

6. 組織横断的な取り組み

- ①OCVB組織横断的に以下の内容を取り組む
 - ・沖縄県とOCVBの役割の合意形成
 - ・経営戦略プロジェクトチーム
 - ・観光目的税推進に向けた取り組み
 - ・各種プロジェクトに関すること



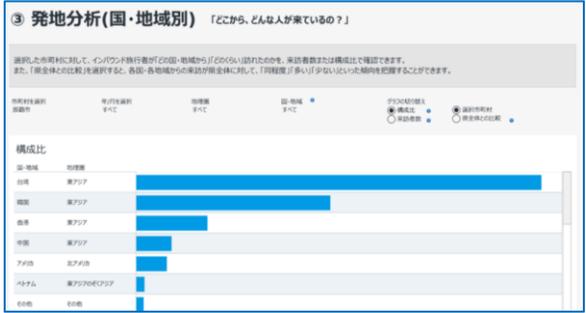
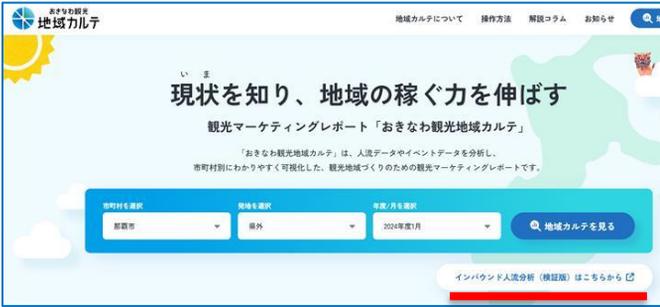


DMO推進・強化の取り組み

◆基礎指針：観光地域づくりの司令塔として関係機関との連携を通し、マーケティング情報の提供や勉強会等の開催、周知等を通じて沖縄観光の推進を図る

- ① 県OCVBで共同プロジェクトチームを立ち上げ、観光振興のための体制構築や観光振興指標の検討等を行う
- ② 沖縄県内のDMOとDMO役割の整理、整合性調整・仕組化を行う
- ③ 内閣府、観光庁事業等について、関係機関への情報共有・調査依頼等を行う
- ④ 入域予測や消費動向調査、国内トランジット調査、OCVB News発行を行う
- ⑤ おきなわ観光地域カルテ（国内版・インバウンド版）の開発・勉強会等を通じた活用促進を行う
 - * インバウンド版は4月中旬より公開予定
 - * SDGs 認証における注力する取り組み

【各種情報はOCVB公式サイトにて公開】



おきなわ観光地域カルテ国内版
 (追加)：市町村別宿泊者数・滞在時間帯
 インバウンド版：
 国・地域別来訪者
 (新規：4月下旬公開予定)

事業の取り組み (受託事業)

◆基礎指針：沖縄県と連携し、地方行政及び観光業界とともに観光危機管理体制の基盤形成と強化の推進を図る。

観光危機管理体制構築支援に関する事業

観光リゾート地としての安全安心を確保するという課題に対応するため、国、市町村、地域観光協会、観光業界等と連携して観光危機管理を強化するための取り組みを行う。

- (1) 市町村及び観光関連事業者における観光危機管理体制強化支援
- (2) 既存計画の運用改善や関係機関の連携体制の構築に向けた観光危機管理図上訓練等の実施
- (3) 観光危機管理に関する情報発信
- (4) 関係機関との連携体制の構築



観光危機管理対策に関する事業 (新規)

観光危機発生時に迅速かつ実行力のある観光危機管理体制の強化を図ることを目的に、平常時からの減災対策、危機対応への準備、危機への対応等の統合的な観光危機管理対策のための観光危機管理ネットワーク会議の事務局運営や調査ヒアリング等を行う。



広報の取り組み

◆基礎指針：県民および県内観光業界へ向けて、OCVBの取り組みの周知強化及び大使を活用した観光コンテンツ発信の強化を行う

OCVB公式サイトや定例記者懇談会を通して、活動内容に関する情報を発信し、組織の取り組みの周知を行う

- (1) PRTimesを活用したプレスリリース配信の強化
- (2) 定例記者懇談会の開催
- (3) 公式サイト、公式SNSを使った情報発信
- (4) 事業概要作成、取材対応調整等
- (5) 花笠マハエ他（着ぐるみ・イラスト）管理、申請対応
- (6) 沖縄国際海洋博覧会ロゴ申請対応



新着情報

- OCVBからのお知らせ >
- 公募情報 >
- 支援情報 >
- 関係省庁等からのお知らせ >
- 活動報告 >
- メディアリリース >

沖縄観光大使

自然、文化、食、スポーツ、4つの部門の専門性を生かした大使による観光コンテンツの情報発信の強化を行う

- (1) イベントへの参加
- (2) SNS (Facebook、Instagram)
- (3) 事業連携情報発信



< oki_tourism_ambassadors_ocvb

沖縄観光大使

24	36	5
投稿	フォロワー	フォロー中

(一財) 沖縄観光コンベンションビューローは、沖縄観光のPRを目的とした「沖縄観光大使」を任命いたしました。
 専門分野を活かした更なる沖縄の魅力発信に努めます！
www.ocvb.or.jp/activities/kankotaishi

事業の取り組み (自主事業)

◆基礎指針：収益事業所の運営により収益の確保に努める

ブセナ海中公園事業所

環境保全を重視したサービス向上、県内外における広報・営業活動を強化し、着地型チケット販売網の拡充、各旅行代理店やレンタカー事業者の発行する各種観光情報誌等の割引特典の拡充、近隣ホテル等との連携強化、公式ウェブサイト、SNSなど、デジタルを活用した情報発信に取り組む。また、SDGs認証における取組として海洋資源保全を行う。

旧海軍司令部壕事業所・海軍壕公園

終戦80周年、開業から55周年の節目を迎える年に当たる。参観者は団体旅行から個人・グループ旅行に移行しているため、親子で学ぶ平和学習やSNSを活用した広報宣伝の取り組みを強化していく。クルーズ客の参観も増加しているため、受入環境の整備を図る。



ブセナ海中展望塔



サンゴ移植



資料表示の多言語化



平和ミニガイドの様子



◆基礎指針：観光業界全体の諸課題解決に向けた組織横断的な取り組みを行う。

1. 観光目的税（宿泊税）導入に向けた取り組み

令和6年11月27日、観光目的税制度の導入施行に関する検討委員会から提出された提言書をもとに、沖縄県法定外目的税制度協議会において、以下の制度の素案が設計された。

- ・税率...定率2%（ただし、税額は2,000円を上限とする。）
- ・課税免除...修学旅行に参加しているもの又はこれらの者を引率する者

税導入後の用途の決定については、観光関連団体や有識者への意見聴取や事業効果検証の仕組みなど、運用体制について検討する必要があるが、税の運用にあたっては、OCVBが一定の役割を担うこととなる。

■OCVBが期待されている役割

・沖縄観光振興戦略検討会議（仮称）の事務局として、観光事業者の意見の吸い上げ、宿泊税の用途の透明性を高めるため

の取組<事業者、県民への周知及びアンケートの実施>

・広域連携DMOとして実施すべき事業展開の実施

令和8年度中の観光目的税（宿泊税）導入に向けて、関係団体との合意形成及び県民の理解促進を図ることで、引き続き沖縄観光の発展に寄与する制度となるよう取り組んでいく。

2. SDGs（持続可能な開発目標）への取り組み



SDGs・サステナブルツーリズムの取り組みを通して、「観光客の満足」と「県民の幸せづくり」の両立を実現させていく。また、おきなわSDGs認証制度の認証を契機に、広域連携DMOとして、地域経営の視点に立った司令塔として量と質のバランスが取れた持続可能な観光地づくりのために設定したKPIの達成に向けて取り組んでいく。

■今後2年間で注力する取組

- ・おきなわ観光地域カルテによるデジタル観光マーケティング
- ・エシカルトラベルオキナワの推進
- ・プセナ海中公園周辺における海洋資源保全
- ・観光関連団体やOCVB賛助会員とのパートナーシップ連携強化
- ・旧海軍司令部壕の戦争遺跡保存



3. ワークेशन推進への取り組み

企業、人々の働き方・生き方の提案を通じた質の高い観光地の形成を図り、観光を通し沖縄の多様な産業・地域への波及へと繋がる取り組みを推進する。

■観光振興...長期滞在・消費額向上

■産業振興...企業誘致・ビジネス創出

■地域振興...地域活性・社会課題解決

■教育関連...交流・人材育成など

「沖縄リゾートワーケーション推進協議会」の活動を通じ、「産・官・学・金」が一体となって新たなマーケット需要の獲得、創出を図ることを世界へ発信していく。



4. 国関連事業への対応

内閣府及び観光庁事業への対応により、沖縄観光の新たな魅力、価値づくりへとつなげる取り組みを実施していく。

<令和6年度関与事業> ・「内閣府 新たな沖縄観光サービス創出支援事業」



◆基本方針

旅行の高付加価値化と旅行時期の平準化

- (1) 日本政府観光局（JNTO）等と連携した重点市場向けテーマ別コンテンツの普及促進
- (2) 万博を契機とした欧米を主とした経路客の誘致、高付加価値旅行の普及促進
- (3) SNSによるタイムリーな沖縄情報の発信、ユーザーインサイト分析
- (4) 質の高いクルーズ船の誘致、クルーズ船受入体制の整備

①重点市場

台湾・韓国・香港・中国

テーマ別のコンテンツ訴求

- ・旅行博出展
- ・商談会
- ・ファミツアー
- ・タイアップ事業
- ・デジタルマーケティング

②戦略開拓市場

ASEAN

便の安定化と認知度向上

- ・旅行博出展
- ・商談会
- ・ファミツアー
- ・各種航空支援
- ・就航歓迎式
- ・運航関連調査

③新規市場

欧州・豪州・北米

高付加価値旅行の普及

- ・現地レップの配置（英、仏、豪）
- ・旅行博出展
- ・商談会
- ・ファミツアー
- ・航空会社タイアップ事業

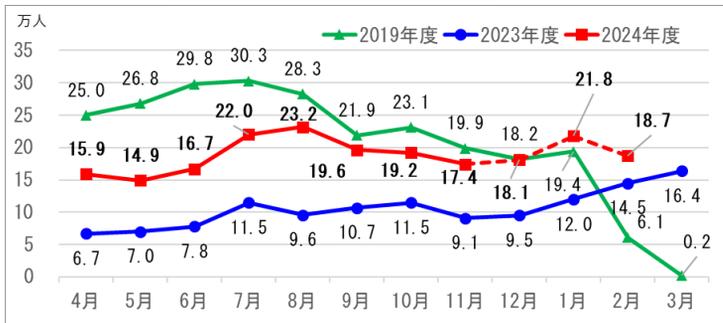
④クルーズ市場

質の高いクルーズ

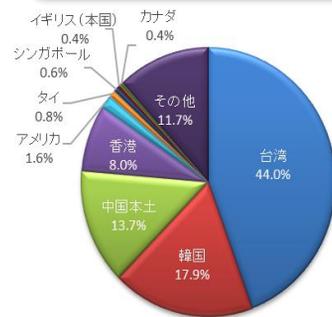
受入態勢の整備

- ・キーパーソン招聘事業
- ・旅行博、商談会出展
- ・クルーズカンファレンス開催
- ・船社タイアップ事業
- ・インセンティブ事業
- ・地域団体連携

入域観光客数（海外）



本県への入域観光客 国籍別シェア（海外）

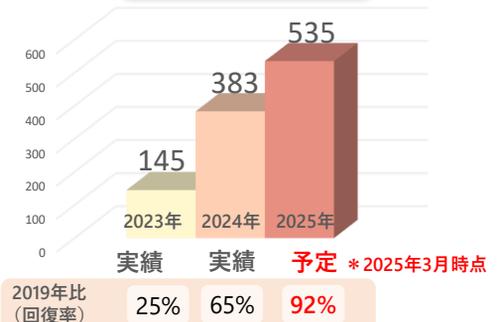


航空路線回復率



2025年2月末現在

クルーズ船寄港数





◆現状/R6成果

- ✓ MICE開催件数：1544件
- ✓ 経済効果：370億円(過去最高)
(R5年沖縄県調査)
- ✓ 商談総数：1069件※6年度実績



◆R7目標

唯一無二の独自性あるMICE開催地として
存在感を発揮した誘致 及び 受入体制の構築

◆基本方針

- (1) 堅調な国内需要を基盤に、海外需要の開拓（アジア・パシフィック、欧米）、支援ニーズ把握
- (2) JNTO※、TCVB※、県海外事務所等と連携した海外出展、招聘（FAMツアー）実施
- (3) 「沖縄MICE開催におけるサステナビリティガイドライン」を活用したSDGs促進
- (4) 沖縄MICEブランドの浸透を通じた地域の独自性あるサービスおよびコンテンツ開発
- (5) 沖縄MICEネットワークを活用した「チーム沖縄」の連携強化を図り全県的な機運醸成

※JNTO（日本政府観光局）TCVB（東京観光財団）

①誘致営業

- MICE商談会出展
- 県内事業者の商談機会創出
- 主催者、旅行社等への訪問営業
- キーパーソン招聘



②開催支援

- MICE主催・参加者等アンケート満足度向上
- 学会等開催支援、バス借上支援、空港歓迎式/芸能派遣/泡盛試飲ブース設置 等



③受入整備

- MICE専門人材の育成
- 沖縄MICEネットワーク活動活性化
 - ・産学官連携しMICE誘致・受入体制構築
 - ・会員連携ビジネスの強化
 - ・MICE出前講座
- ・2000年九州・沖縄サミットをフックとしたMICE開催の機運醸成



④SDGS推進

- 「沖縄MICE開催におけるサステナビリティガイドライン」の普及促進
- ・サステナビリティの取組強化



⑤ブランド浸透

- 沖縄MICEブランドの普及促進
- ・「沖縄らしい」コンテンツ開発 → 高付加価値化





現状

(令和5年度)
 ・一人当たり消費額（国内）：
 99,699円
 ・平均泊数：3.04泊

課題

・消費単価の向上
 ・滞在日数の延伸
 ・年間誘客の平準化
 ・環境や地域への負荷

目標

・エシカルトラベルの周知拡大
 （県内・県外）
 ・効果的な情報発信
 （一般観光・離島・スポーツ等）

戦略

1. エビデンスに基づく戦略策定

L/F、リピーター調査、デジタル（Googleアナリティクス・Social Insight等）、おでかけウォッチャー、地域カルテ、関係機関ヒアリング、リアルイベントでのアンケート調査等を踏まえプロモーション戦略策定を行う。

2. 公益性や広域連携DMOの機能を活かしたプロモーション実施

県や地域が推進している取り組み等の情報発信、台風等観光危機発生時の情報発信、関係機関や団体と連携したプロモーションを行う。

3. 相乗効果の高い事業実施

一般観光×デジタル、スポーツ×離島など、事業やチームの垣根を越えたプロモーションを実施し、OCVBならではの相乗効果の高い事業展開に努める。

4. 閑散期対策に係るプロモーション

スポーツツーリズム、エシカルトラベル等、冬場の閑散期に誘客が見込めるコンテンツに係るプロモーションを行う。

5. 航空会社連携プロモーション

直行便を就航している航空会社及びチャーター便を展開する地域航空会社と連携し、ニーズや市場の状況に即したプロモーションを行う。

主な取組み

1. エシカルトラベル
2. 地方路線強化
3. リピーター創出プロモーション
4. 地域の誘客及び受入方針を尊重した離島観光
5. スポーツツーリズム
6. デジタルプロモーション及びマーケティング強化
7. 首都圏の旅行市場動向調査
8. 一般観光、MICE、修学旅行セールス活動
9. 沖縄関連企業や団体との事業連携





現状

▶観光入域客数
(国内・海外合計)
2024年度 995万人(見込)
国内→過去最高の入域客数
海外→空路は復便、新規就航、
海路は海外クルーズが回復傾向

受入の課題

- ・観光人材の不足
- ・二次交通、渋滞問題
- ・修学旅行受入
(物価高騰、バス運転手不足等)
- ・ロケ実施による受入環境整備
- ・観光協会/DMO運営体制の不安定さ

目標

- 受入体制を整備することで「沖縄観光の質の向上」を図り、「県民生活の豊かさ」を醸成する。
- ・観光客、観光関連事業者の満足度向上
- ・県民の幸せ感の向上

戦略

- ・国内外マーケットニーズの回復を見据え、各ステークホルダーとの連携体制を強化する。
- ・国内外観光地との競争力ある沖縄観光ブランドの確立をめざし、受入体制の整備ならびに人材育成・確保に努める。
- ・観光産業の重要性や魅力を県民に向け発信すると共に、観光事業者、関係者に寄り添い課題解決に向けて取り組む。
- ・地域(自治体、観光協会、観光業者、県民)との連携に基づいたテーマ別ツーリズム(教育旅行、フィルムオフィス)の強化を図る。

主な取組み

1. 教育旅行強化促進

- ・修学旅行プロモーション
- ・事前・事後学習支援
- ・修学旅行模擬体験事業
- ・商品造成・受入体制整備
- ・海外教育旅行誘致及び受入体制整備
- ・分散化に向けた支援事業

2. フィルムツーリズムの推進

- ・フィルムコミッション窓口業務
- ・ロケ受入体制強化(セミナー、ガイドラインの周知)
- ・フィルムマーケット等でのロケ地プロモーション
- ・地域の魅力発信(上映機会の創出、ツール作成、WEB、SNSにおける発信など)

3. 地域観光協会との連携強化

- ・地域へのヒアリング
- ・全体協議会の開催
- ・地区協議会の開催
(南部・中部・北部・宮古・八重山・久米島)
- ・宿泊税導入に向けた意見交換

4. 観光人材の確保・育成

- ・階層別、テーマ別研修
- ・専門家派遣によるハンズオン支援
- ・学生向け出前講座
- ・人材確保に向けた実態調査
- ・産学官連携会議
- ・学生と企業のマッチングイベント
- ・「育人」サイトの運営・活用促進

5. 観光事業者への収益力向上に向けたサポート業務

- ・ISCOとの連携
- ・観光協会・事業者への周知等



<p>◆観光施設・飲食・土産品(会員様数:67)</p> <p>株式会社アムズーヴィス 有限会社うえち ステキハウス88グループ 株式会社沖縄テクノクリエイト 株式会社グレートイースタン 琉球料理と琉球舞踊 四つ竹 株式会社幸 株式会社ジェイシーシー 有限会社ちめまふーズ フォモストブルーシール株式会社 レストラン 琉球の館 ナゴバナップパーク(株式会社名護バイン園) 株式会社南都 株式会社マレア・クリエイト (宜野湾マリン支援センター) 中村家住宅 (国指定重要文化財中村家住宅) 体験王国 & ホテル むら咲むら (株式会社読谷ククルリゾート沖縄) 沖縄フルーツランド株式会社 ネオパークオキナワ (名護自然動物園株式会社) 株式会社森のガラス館 株式会社優美堂 沖縄アウトレットモールあしびな- (大和ハウスリアルティマネジメント株式会社) 豊崎ライフスタイルセンター TOMITONテナント会 (株式会社ザイマックス九州) 沖縄ディーエフエス株式会社 ANA FESTA株式会社 沖縄店 株式会社タイラ 株式会社琉民 株式会社沖縄県物産公社 株式会社御菓子御殿 株式会社沖縄黒糖 ホールアース自然学校沖縄校 がじゅまる自然学校 株式会社ナンポー 東南植物楽園 公益財団法人沖縄協会 (沖縄平和祈念堂) イオンモール沖縄ライカム 味と踊りの竜宮城うらしま 有限会社キャブテズグループ 株式会社フードサービスもとぶ 有限会社料亭那覇 琉球ガラス村 沖縄県観光事業協同組合 恩納ガラス工房 (株式会社恩納ガラス工芸育成センター) 恩納海浜公園ナビピーチ ピオスの丘 有限会社首里琉染 株式会社琉球民芸センター 道の駅許田 (やんばる物産株式会社) 株式会社おきなわ屋 株式会社U-MORE (島しやぶしやぶNAKAMA) 株式会社 徳慶 琉球村 (多幸山株式会社) 株式会社エーデルワイス沖縄 東村ふるさと振興株式会社 株式会社ashibi enterprise 株式会社沖縄物産企業連合 NPO法人自然体験学校 株式会社がんじゅう 城紅型染工房 DMMかりゆし水族館 (株式会社DMM RESORTS) 笹桐庵/SASAGIRIAN イース沖縄豊崎 (大和ハウスリアルティマネジメント株式会社) 釣って見つけるぼうけんの国 万座木株式会社 バナナパラダイス 那覇空港店 株式会社 日本バイオテック 南城美術館 株式会社ジャパンエンターテイメント 古宇利島の駅ソラハン 沖縄南風堂株式会社 有限会社川平サンサーピス</p>	<p>◆宿泊施設(会員様数:113)</p> <p>ロワジールホテル & スパタワー那覇 パシフィックホテル沖縄 沖縄ハーバービューホテル 株式会社かりゆし ホテルJALシティ那覇 南西観光ホテル リーガロイヤルグラン沖縄 リッチモンドホテル那覇久茂地 メルキュールホテル沖縄那覇 (エイ・イー・ピー・シー・ジャパン株式会社) 琉球サンロイヤルホテル株式会社 東横INN那覇国際通り美栄橋駅 ダイワロイネットホテル那覇国際通り 株式会社西鉄ホテルズ COMMUNITY & SPA 那覇セントラルホテル パームロイヤルNAHA国際通り ダイワロイネットホテル沖縄県庁前 株式会社ホテルグランビュー ホテルオーシャン ホテルパークスタジアム那覇 ホテル沖縄w i t hサンリオキャラクターズ 沖縄GRGホテルズ株式会社 一般財団法人沖縄県青年会館 サザンビーチホテル&リゾート沖縄 ユインチホテル南城 ソルヴィータホテル那覇 ダブルツリー-byヒルトン那覇 ラグナガーデンホテル ベッセルホテルカンパナ沖縄 株式会社KPG HOTEL & RESORT 株式会社 E M 研究機構 Royal Hotel 沖縄残波岬 ホテル日航アリビラ リザンシーパークホテル谷茶ベイ A N A インターコンチネンタル 万座ビーチリゾート ルネッサンスリゾートオキナワ ムーンホテルズアンドリゾーツ株式会社 オリエンタルホテル 沖縄リゾート & スパ シェラトン沖縄サンマリーナリゾート カヌチャリゾート ザ・テラスホテルズ ザ・リッツ・カールトン沖縄 ホテルリゾネックス名護 ホテルゆがいふいんおきなわ ホテルマハイナ ウェルネスリゾートオキナワ ロイヤルビューホテル美ら海 リゾートホテル・ベル・パライソ YYY CLUB ie RESORT オクムプライベイトビーチ&リゾート 株式会社宮古島東急ホテル&リゾート クラブメッド 石垣島 星のや竹富島 アートホテル石垣島 南の美ら花ホテルミヤヒラ ホテルグランビュー石垣新川 石垣シーサイドホテル はいむるぶし ローヤルホテル 株式会社ロイヤルマリンパリス ヒルトン沖縄北谷リゾート 那覇東急 R E I ホテル スマイルホテル沖縄那覇 沖縄ホテル ウィークリーハーバービューマンション本館 ザ・ビーチタワー沖縄 株式会社守礼 ホテルみゆきビーチ 本部グリーンパークホテル・ゴルフ場 石垣島ビーチホテルサンシャイン ネイチャーみらい館 ホテルモンテ沖縄スパ&リゾート ホテルロイヤルオリオン ハイアットリージェンシー那覇沖縄 HOTEL AZAT ダブルツリー b y ヒルトン那覇首里城 ホテルグレイスリー那覇 ワンスイートホテル&リゾート古宇利島</p>	<p>海の旅亭おきなわ名嘉真荘 株式会社前田産業ホテルズ ホテルライジングサン宮古島 東横イン那覇旭橋駅前 (株式会社東横イン) ホテルルートイン那覇泊港 ハレクラニ沖縄 ハイアットリージェンシー瀬良垣アイランド沖縄 ノベルホテル那覇 ホテルコレクティブ JR九州ホテル プラッサム那覇 東急ステイ沖縄那覇 株式会社那覇企画開発 ホテル星立西表島(株式会社 H E A トラストグループ) スマイルホテル那覇シティリゾート 東横イン那覇おもろまち駅前 株式会社東横イン那覇新都心おもろまち リゾート琉球株式会社 沖縄UDS株式会社 星のや沖縄 ヒルトン沖縄瀬底リゾート アンサ沖縄リゾート ベストウエスタン レク-沖縄北谷スパ&リゾート プレゼンリゾート株式会社 有限会社とかしくマリンビレッジ ヒューイットリゾート那覇 株式会社ピース企画 株式会社南西楽園リゾート OMO5沖縄那覇by星野リゾート 沖縄プリンスホテル オーシャンビューぎのわん ホテル・アンドルムス那覇ポート 琉球ホテル&リゾート 名城ビーチ HIYORIオーシャンリゾート沖縄 ヒルトン沖縄宮古島リゾート ユナイテッドリゾート リゾナーレ小浜島</p> <p>◆印刷・広告(会員様数:53)</p> <p>有限会社アートプリント 有限会社アイディー・ブランド 株式会社アカネクリエイション あけぼの印刷株式会社 株式会社アドスタッフ博報堂 株式会社うらま印刷 沖縄インデックス 沖縄広告株式会社 協同組合沖縄産業計画 株式会社近代美術 光文堂コミュニケーションズ株式会社 有限会社サン印刷 株式会社サン・エージェンシー 株式会社尚生堂 株式会社城野印刷所 沖縄営業所 新星出版株式会社 株式会社スカイ企画 株式会社宣伝 第一印刷株式会社 株式会社電通沖縄 株式会社東洋企画印刷 株式会社トエエ 株式会社明治アドエージェンシー 株式会社BBDO J WEST 沖縄支店 株式会社ヒラヤマ 株式会社プロダクツ・プランニング 丸正印刷株式会社 株式会社ブレン沖縄 株式会社琉球新報開発 株式会社ワイド 株式会社琉球芳草 沖縄企業株式会社 株式会社リマプロ 株式会社インディボンドネットワークス 株式会社ディリー・インフォメーション 株式会社国際印刷 株式会社真直組 株式会社ファンファレ・ジャパン 有限会社べんぎん 株式会社池宮商會</p>	<p>株式会社旭堂 有限会社福琉印刷 沖縄高速印刷株式会社 有限会社中部電算フォーム 株式会社アドプ 株式会社ワンダーリユークユー 株式会社イー・ステート・オンライン 有限会社ウエスト沖縄 IU株式会社 有限会社太陽印刷 株式会社エンジョイOKINAWA 株式会社エアポートTVネットワークジャパン 株式会社クイツープランニング</p> <p>◆情報通信・IT(会員様数:18)</p> <p>株式会社オーシーシー 株式会社沖縄映像センター Gネットワーク株式会社 N T T 西日本 沖縄支店 株式会社オキネット 株式会社ブレイン 株式会社ワイズブリッジ NO MARK Inc. テトラビット 沖縄Hibi (ハイビ) 富士通Japan株式会社 沖縄支社 キッセイコムテック株式会社 株式会社タップTHL 沖縄事務所 ガリレオスコープ株式会社 株式会社タイミー SOCIALPORT株式会社 赤色 Nutmeg Labs Japan株式会社</p> <p>◆マリネジャー・スポーツ(会員様数:18)</p> <p>ザ・サザンリンクスゴルフクラブ (株式会社アコーディア A H 02) かねひで喜瀬カントリークラブ 株式会社シーサー (マリンハウスシーサー) 有限会社トップマリン残波 TOTAL MARINE SPOT NEWS 有限会社ぶしいぬしま m i c 2 1 株式会社 アブリシエイト 有限会社タイド 一般財団法人健康科学財団 株式会社パティ・アジア・パシフィックジャパン 株式会社シーポワール (マリンクラブUMI) 株式会社南洋社中 (沖縄海あしび) 株式会社NASH 株式会社ブルーフィールド ダイビングサービスジャミング 有限会社やんばる自然塾 ヤンバルンチャー</p> <p>◆イベント・ウエディング・舞台関係(会員様数:9)</p> <p>沖縄ワタベウエディング株式会社 株式会社ブライダルハウスチュウ沖縄 有限会社池宮商事 有限会社サウスエリア 有限会社インプレスト 株式会社ブリックス かりゆしウエディングANNE サニースウエディング 一般社団法人沖縄リゾートウエディング協会</p>
--	---	---	---

<p>◇卸・小売・販売(会員様数:28)</p> <p>オリオンビール株式会社 くろすの社 忠孝蔵 まさひろ酒造株式会社 株式会社サンエー 株式会社プラザハウス 株式会社奥原商事 パイネット株式会社 笹尾商工株式会社アウトドアショップNEOS 沖縄食糧株式会社 株式会社フジタクリエイション 株式会社チエロ沖縄 株式会社JTB商事 株式会社沖縄伊藤園 サントリーフーズ沖縄株式会社</p> <p>株式会社サッポロドラッグストアー 株式会社ホクガン 株式会社ジュネ 福山商事株式会社 有限会社比嘉酒造 瑞泉酒造株式会社 株式会社ジムキ文明堂 株式会社久米島の久米仙 沖縄コカ・コーポリング株式会社 コジマ×ビックカメラ那覇店 株式会社エス・ティ商事 (株)サガミレーディングオキナワ ecowana シヤチハタ株式会社</p>	<p>◇人材派遣・翻訳・通訳(会員様数:8)</p> <p>株式会社リクルートライフスタイル沖縄 株式会社アレンディー 株式会社沖繩リレーションシップ 株式会社チャイナゲートウェイ 株式会社マイナビ 沖縄支社 株式会社沖繩コングレ 株式会社サポートスタッフ沖縄 株式会社グッドマンサービス</p> <p>◇学術・研究・コンサル(会員様数:7)</p> <p>株式会社おさぎん経済研究所 株式会社DUO 株式会社エス・ピー・ネットワーク沖縄営業所 株式会社リゅうぎん総合研究所 公益財団法人日本交通公社(JTBF) オフィスKIBOU株式会社 ノイズ・バリュース</p> <p>◇企業・その他(会員様数:41)</p> <p>あいあいケータリング沖縄 (㈱アメニティ) 株式会社アイレント IMAGÉ 株式会社アルファスリー 沖縄ガス株式会社 沖縄セルラー電話株式会社 富士フイルムBI沖縄株式会社 沖縄総合警備保障株式会社 沖縄綿久寝具株式会社 株式会社DMC沖縄 株式会社桃原農園 那覇空港ビルディング株式会社 株式会社日進商會(MAJUN OKINAWA)</p>	<p>株式会社ビジネスランド 琉球警備保障株式会社 株式会社リゅうせき 医療法人タビック 株式会社オリエンタルコンサルタンツ 沖縄支社 株式会社沖繩ダイケン 有限会社沖繩花火 株式会社住太郎ホーム 株式会社沖繩第一興商 株式会社地域プランディング研究所 (Attractive JAPAN) 株式会社ネオックスワン 美浜リアルエステート株式会社 リゾートペーパーサービス ワールドキッズ 沖縄の風合同会社 吉本興業株式会社 (よしもとエンタテイメント沖縄)</p> <p>レンタル琉装veni NPO法人那覇市街角ガイド 日琉リネンサプライ株式会社 コーエーレンティア株式会社 沖縄営業所 株式会社IGLOO SYLジャパン株式会社 株式会社ゆがふホールディングス 沖縄体験コライカナイ 沖縄アリーナ株式会社 株式会社イノアック琉球 株式会社東洋設備 有限会社朝日興業企画 株式会社INFORICH 株式会社ジョイント沖縄</p>
--	---	---

OCVB 賛助会員募集中!

OCVBは、「沖縄観光のプロフェッショナルとして県経済発展の推進役を担い、観光を通じた県民の幸せづくりに貢献する」ことを基本理念としています。

●会員サービス

迅速な情報提供

- ①OCVBからの迅速な情報発信、相互情報発信を目的とした「賛助会員交流掲示板」への参加
- ②月1回発行「OCVB News」早期配信

各種イベントのご案内

- ①OCVB事業説明会・交流会
- ②OCVB新春の集い
- ③各種講演会、セミナーの開催

●年会費

基本会費：1口 50,000円

●賛助会員制度について

お問い合わせ先：OCVB 賛助会員事務局

TEL：098-859-6124 詳しくは、<http://www.ocvb.or.jp/organization/member>

PRする場のご提供

- ①OCVBサイト(当サイト)の「賛助会員情報」内における企業情報掲載
- ②OCVB交流サロンならびに東京事務所パンフレットラックの利用(無料)
- ③OCVBサイト(当サイト)の「賛助会員情報」内におけるパンフレットデータの公開



＼より良いOCVB newsを作っていくため、読者アンケートにご協力をお願いいたします。／

<https://forms.office.com/r/fJzdifr1qV>



どんな情報が役に立っていますか？
どのような記事が読みたいですか？